

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2023年度 第2回ひょうご産官学連携協議会総会 兼 第1回コンソーシアム担当者連絡会
議事次第

日時：2023年10月25日(水) 15時00分～16時00分

場所：オンライン会議 (ZOOM)

出席者：兵庫県総務部教育課

兵庫県商工会連合会

兵庫県中小企業家同友会

兵庫県中小企業団体中央会

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校

(タイプ3プラットフォーム型申請責任者、コンソ担当者、企画運営委員会委員)

I. 審議事項

1. 令和5年度私立大学等改革総合支援事業タイプ3プラットフォーム型の申請について (資料1)

II. 報告事項

1. 2023年度 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校学生 (2023年度入学生) 対象
薬物意識調査について (資料2)
2. リスクに関する情報連絡会について (資料3)
3. 災害救済ボランティア活動支援関係団体連絡会議について (資料4)
4. その他

III. 連絡・調整事項

1. 第3回ひょうご産官学連携協議会総会及び2023年度活動報告会
日時：2024年3月
2. その他

以上

<資料一覧>

資料1-1：令和5年度私立大学等改革総合支援事業申請について

資料1-2：タイプ3PF型提出資料① 体制概要と中長期計画評価

資料1-3：タイプ3PF型提出資料② 調査票、PF参画団体一覧、意見書

資料2-1：2023年度 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校学生 (2023年度入学生) 対象
薬物意識調査

資料2-2：共同IRの実施結果の地方自治体及び地元産業界等と共有及び改善の協議等について

資料3-1：リスクに関する情報連絡会 (第1回) 報告書

資料3-2：リスクに関する情報連絡会 (第2回) 報告書

資料4：災害救済ボランティア活動支援関係団体連絡会議関連資料

資料5：兵庫県からのお知らせ

令和5年度私立大学等改革総合支援事業 タイプ3について

令和5年度 申請に際して

1) 基本的な考え方

- ・ひょうご産官学連携協議会のプラットフォームをベースとし「中長期計画Ⅱ期」を継続して遂行する。

2) 令和5年度の方針

- ・昨年度に引き続き、「タイプ3プラットフォーム型」での申請承認を行う。
- ・「地域連携型」への個別申請は、加盟校の独自判断に委ねる。
※今年度よりタイプ3において「地域連携型」と「プラットフォーム型」の両型への申請が可能となった
- ・取りまとめ校 甲南大学 (理事長校にて対応)

3) 申請に向けたスケジュール (2023年度)

- ・7月24日 (月) : 「私立大学等改革総合支援事業調査票」調査依頼
- ・10月31日 (火) : 「私立大学等改革総合支援事業調査票」提出期限
- ・2月頃 : 支援対象校の決定及び公表
- ・3月頃 : 私立大学等経常費補助の交付決定

2017（平成29）年度からの私立大学等改革総合支援事業への申請状況

		2017年度 (平成29年)	2018年度 (平成30年)	2019年度 (令和元年)	2020年度 (令和2年)	2021年度 (令和3年)	2022年度 (令和4年)	2023年度 (令和5年)
私立大学等改革総合支援事業予算		176億円	131億円	147億円	114億円	110億円	112億円	112億円
申請タイプ		タイプ5 都市型	タイプ5 発展型Ⅰ	タイプ3 プラットフォーム型(都市型)				
ひょうご 産官学連携 協議会	個別申請校数	14校	19校	7校	8校	9校	9校	9校
	採択校数	14校	5校	5校	4校	4校	7校	

2023（令和5）年度 プラットフォーム型申請校

- ・ 大手前大学
- ・ 関西国際大学
- ・ 甲南大学
- ・ 神戸松蔭女子学院大学
- ・ 神戸常盤大学
- ・ 大手前短期大学
- ・ 関西学院大学
- ・ 神戸学院大学
- ・ 神戸親和大学

(五十音順)

令和5年度の主な変更点について

- 令和4年度において実施率の高かった設問等について、配点の見直し、内容や選択肢の高度化あるいは廃止
- 「地域連携型」と「プラットフォーム型」の二つの類型への申請を可能とする。
- 二つの類型に選定された場合の支給額については調整する。

2017（平成29）年度からの配点・選定条件・ひょうごPF得点の推移

		2017年度 (平成29年)	2018年度 (平成30年)	2019年度 (令和元年)	2020年度 (令和2年)	2021年度 (令和3年)	2022年度 (令和4年)	2023年度 (令和5年)	
共通 設問	配点	84	74	76	78	70	64	53	
	選定条件	点数	56	50	48	54	48	42	
		%	67%	68%	63%	69%	69%	66%	
	ひょうご 産官学連携 協議会	ひょうごPF得点	66	54	57	57	54	55	46
		%	79%	73%	75%	73%	77%	86%	87%

2023（令和5）年度 加点部分

●施設設備の共同利用（共通設問⑱）

今年度より複数種類の施設・設備の利用が求められる

→大手前コンテンツセンター（昨年度も利用）に加え、神戸常盤大学1305教室を利用

●大学事務の共同実施（共通設問⑲）

今年度は実施には至らなかったが、企画運営委員会にて実施に向けた検討を複数回行ったことで「実施はしていないが、実施に向けた検討を複数回行っている」に該当し、1点の加点

今後の課題について

- PF参画大学等の間で、大学事務の共同実施（事務の効率化もしくは経費削減を目的とした、500万円以上の備品の共同購入または業務システムの共同開発及び導入）
- PF参画大学等の間での授業科目の共同開発の検討
- PF参画大学等の間での外国人留学生対象の合同大学説明会や合同による外国人留学生選抜試験の実施について検討

プラットフォーム名：ひょうご産官学連携協議会

様式1) プラットフォームの連携体制・中長期計画の概要図(1ページ以内) ※全てのプラットフォームが記入

○現状・課題、ビジョン・目標(数値目標含む)、連携体制図(協議体制含む)、取組の抜粋等により、プラットフォームの全体像がわかるように作成してください。

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画第Ⅱ期 基本方針・概要図

【基本方針】

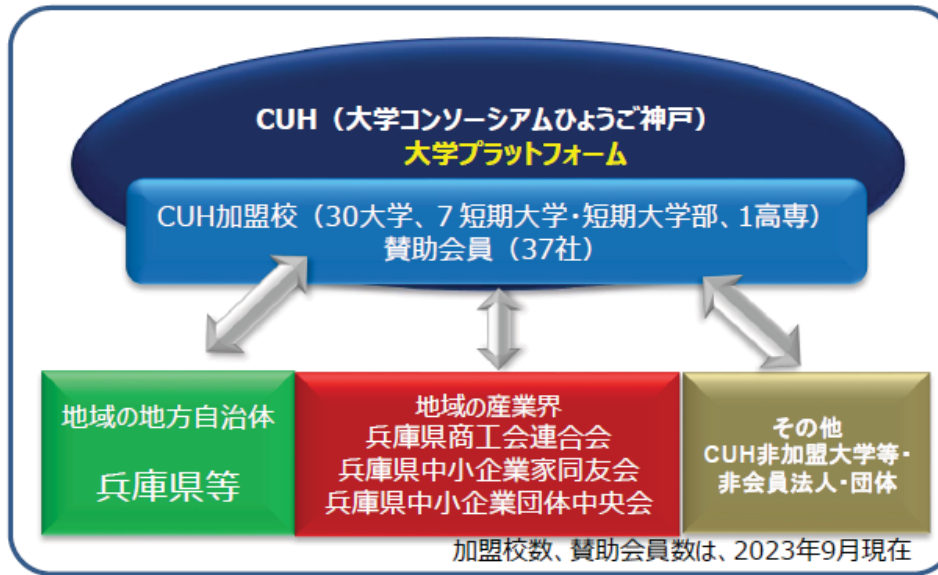
一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の中長期計画Ⅰ期(2017年4月1日～2022年3月31日)における取組内容とその成果を発展的に継承して、中長期計画Ⅱ期(2022年4月1日～2027年3月31日)を策定する。

さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多面的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多面的な教育活動に寄与する計画とする。

【ビジョン・目標】 大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

- ・自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発する。
- ・人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する取組を通じて、地域と大学の魅力を県内外に発信する。
- ・大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる活動を展開する。

プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



【取組みの概要】

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携

- ① 地域の活性化のための県内企業就職率の向上
(加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携)
- ② 県内大学と高校間の連携による円滑な高大接続
- ③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進

2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援

- ④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
- ⑤ 外国人留学生と日本人学生等の交流促進

3. 県内大学の教育・研究の質を高める多面的学びの提供

- ⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
- ⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
- ⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進

4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

- ⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成
- ⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備

参考：大学コンソーシアムひょうご神戸 ホームページ <http://www.consortium-hyogo.jp/sankangaku/index.html>

様式2) 中長期計画に対する自己評価 (1 ページ以内) ※計画策定から1年以上のプラットフォームのみ記入	
A	<p>S：当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。</p> <p>A：当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。</p> <p>B：当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。</p> <p>C：当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。</p> <p>D：当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。</p>
評価理由	<p>当プラットフォーム（「ひょうご産官学連携協議会」以下、「当協議会」という。）構成メンバーのうち、大学のプラットフォームである一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸（以下、「当コンソ」という。）においては、加盟校は38大学等となり、県下52大学等の内73%が加盟となった。</p> <p>当協議会では、中長期計画Ⅱ期において10課題を設定し、課題を解決するために18の取組を計画・実施している。2023年9月末日現在までの実施状況について、S評価：5取組、A評価：13取組、B、C、D評価はなし、評価外：なしと評価した。</p> <p>2023年度は、担当委員会や参加学生とともに知恵を出し合い、プログラム内容や開催方法（対面、オンライン、ハイブリッド開催等）も工夫することで、当初の事業計画をほぼ実施している。その結果、全体としては5年間の中長期計画Ⅱ期の2年目として課題解決に向けて着実に実行しており、目標に対し十分な成果が見込めるとの判断でA評価とした。</p> <p>各取組について、当協議会の評価及び改善の手順に則り、次年度に向けて適宜見直しを行い、中長期計画Ⅱ期で策定した各課題の解決のため、地域の自治体（兵庫県）との連携強化、及び当コンソの賛助会員の増加を含めた地域の産業界との更なる共創に取り組む。</p>
評価に関する備考（考慮すべき事項）	<p>当協議会では、中長期計画Ⅱ期に策定した各課題を当コンソの各事業委員会にて分担して実施しているため、課題の解決に向けて各事業委員会が情報共有し、連携を密にして進めることが重要である。このことを踏まえ、昨年度から引き続き事業委員会体制の強化について、当コンソの理事会を中心に検討を進めている。</p> <p>現在の中長期計画Ⅱ期の2年目に当たる今年度は、加盟校と課題を抱えている企業を繋ぐ『企業課題解決プログラム』を開始し、地元企業や地域への愛着を深め、長期的なひょうごの活性化に繋げていくための検討を進める。また、地域のリスクマネジメント体制について情報連絡会を開催し、具体的な大学間連携でのリスクマネジメント体制について検討する。前年度に引き続き、今年度も地方自治体（兵庫県）との連携強化、及び当コンソの賛助会員の増加を含めた地域の産業界との更なる共創に取り組む。</p>

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
①地域の活性化のための県内企業就職率の向上 キャリア委員会	【取組1の目標】 本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合： 参加学生の70%以上	【取組1】大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施 兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者であり、県内大学卒業者の『県内企業就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。 その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足があると考えられる。県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供する。地元企業と加盟校が連携することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、地域の活性化を実現する。 ①大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組 ・合同企業説明会 ・企業とキャリアセンターとの意見交換会 ・情報技術を活用した魅力ある県内中小企業情報の発信 ・県内企業間の情報連携 ②大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組 ・経営者による職業観形成プログラム ・若手社員による学生啓発プログラム	【取組1の活動指標】 各年参加者数 500名以上	※県内企業就職率 2022 (R4) 年度実績:28.8% 【実施プログラム】 2022年度 参加学生数: 470名 参加教職員数: 131名 (県内企業理解が深まった割合:87.6%) 『大学キャリアセンター教職員向け』 ・キャリアセンター対象の合同企業説明会 「兵庫県中小企業家同友会会員企業との交流会」(2023/3/9) 参加教職員数: 7校7名 参加企業数: 45社91名 ・意見交換会 ①「企業とキャリアセンターとの就職情報交換会」(2022/6/28・協業:神戸新聞社) 参加教職員数: 3校3名 参加企業数: 11社25名(行政等)1団体1名 ②「企業とキャリアセンターとの就職情報交換会」(2022/10/19) 参加教職員数: 18校26名 参加企業数: 69社69名 行政等: 2団体5名 ③「北播磨地域企業と大学キャリアセンターとの意見交換会」(2022/11/17) 参加教職員数: 17校23名 参加企業数: 39社46名 行政等: 2団体7名 ④「淡路商工会会員企業と大学キャリアセンターとの意見交換会」 (2022/12/6) 参加教職員数: 11校12名 参加企業数: 12社14名 行政等: 1団体1名 ⑤「大学×企業の情報交換会」 (2022/12/17) 参加教職員数: 12校12名 参加企業数: 14社21名	S

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				⑥「丹波地域企業と大学等との就職情報交換会（2023/2/22） 参加教職員数：15校15名 参加企業数：15社15名 行政等：5団体8名 ・県内企業魅力発見バスツアー →一部動画制作に変更 ①淡路方面：（11/16公開） 動画閲覧数：309回 ②但馬方面：（3/20公開） 動画閲覧数：338回 ③阪神方面：バスツアー（2023/2/22） 参加学生数：9校14名 参加教職員数：1校1名 参加企業数：4社8名 行政等：3団体7名 『大学生に対する取り組み』 ・経営者による職業観形成プログラム ①「マイクロインターンシップ」 （2022/8/22～30） 参加者学生数：16校38名 参加企業数：8社11名 ②「県内企業経営者・人事担当者との座談会」（2022/12/17） 参加学生数：14校61名 参加企業数：13社20名 ③「社会人とスタートダッシュ」 （2023/3/7） 参加学生数：4校12名 参加企業数：6社8名 参加教職員数：1校1名 行政等：4団体6名 ・若手社員による学生啓発プログラム ①「就職サミット2024」（2022/6/28） 参加者：（学生）13校25名、（企業）11社25名 ②「ライフキャリアを考える」 （2022/11/5） 参加学生数：8校15名 参加企業数：15社17名	

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入						
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考	
				参加教職員数：1校1名 行政・団体：2団体2名 ③「グループディスカッションで学ぶ企業人事の採用視点」(2022/11/22) 参加学生数：8校24名 参加企業数：6社8名 ④「合同模擬グループディスカッション」(2022/12/17) 参加学生数：14校61名 参加教職員数：12校12名 参加企業数：14社21名 ⑤「面接大作戦」(2022/12/17) 参加学生数：14校61名 参加教職員数：12校12名 参加企業数：14社21名 ⑥「就職活動直前応援イベント選考を通過するES・面接の本質とは?!」(2023/2/25) 参加学生数：7校26名 参加教職員数：3校5名 ⑦「ひょうご就職サミット2024」(2023/3/9) 参加学生数：48校120名 参加教職員数：45社91名 行政等：1団体7名		
	【取組2の目標】 情報公開企業・団体数120社以上	【取組2】県内企業・団体等の魅力を情報発信地域の産業界の協力を得て県内企業や団体等の情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公表するとともに、兵庫県内の職業紹介サイト等との連携も図る。加えて、県内企業・団体等が求める人材について、情報交換会等を通じ、企業と大学間で人材ニーズと人材育成に関する情報の共有と相互理解を深める。	【取組2の活動指標】 企業情報の追加掲載 2種類以上	「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開。 2022年度新規情報掲載企業：15社 ※兵庫県内企業152社掲載中 2023年度追加情報(予定) ①ミモザ企業②地域未来牽引企業	A	
②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大連携	【取組1の目標】 各年参加校数20校以上	【取組1】大学と高等学校の意見交換会の実施教育委員会等と連携して兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行い、兵庫県下の高大連携を深める。	【取組1の活動指標】 意見交換会等の実施/年1回以上	・意見交換会等の実施 2022年度：3回 2023年度：1回 2022年度実績： ・兵庫県教育委員会との協議実施(2022/7/13)	A	

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				・ひょうご高等学校大学コンソーシアム (2022/12/12) 『『探究』を教育活動で展開するにはどうしたらよいか』兵庫県下の高校教職員・大学教職員等参加者:計64名 (加盟校20校42名、高校14校17名、企業・団体2社・5名) ・兵庫県内合同進学相談会 (2023/3/28) 参加者:計44名/高校(生徒・保護者)16校16名・大学(教職員)…20校23名、その他5名 2023年度: ・兵庫県教育委員会との協議実施 (2023/9/1)	
	【取組2の目標】 各年情報提供先数 高等学校等200か所以上	【取組2】加盟校の魅力情報を発信し、加盟校への進学率の向上を図る。生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。	【取組2の活動指標】 大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載・アンケート等の実施/年1回以上	・大学コンソーシアムひょうご神戸HPへ各大学「オープンキャンパス情報」「学園祭」「学び発見マップ」として情報提供。	A
③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進	【取組1の目標】 各年参加者数 50名以上	【取組1】テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクトを実施する。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。	【取組1の活動指標】 参加加盟校数 10校以上/年	2022年度:17校151名 2023年度:13校59名(9/13現在) 2022年度実績: 「WILL BE プロジェクト」: ・「第21回 Kobe Love Port ・「みなとまつりで 楽天ヴィッセル神戸と イベントブースを企画しよう」 (2022/7/17~18) 参加者数:計54名 ・「第1回 Autumn Festival in KOBEでマルヤナギ小倉屋とイベントブースを企画しよう!!」 (2022/9/23) 参加者:計22名 ・「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」 (2022/8/8~12/17) 参加者:計75名 ・「地域子育て支援拠点等でのボランティア活動」 (2022/11~2023/3) 参加者:計7名(学生) 2023年度:	S

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				<ul style="list-style-type: none"> ・「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」(2023/8/5～2024/1/14) 参加者：計68名 ・「地域子育て支援拠点等でのボランティア活動」(2023/5～継続中) 	
	<p>【取組2の目標】 情報公開数 200取組以上</p>	<p>【取組2】加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施 加盟校の学生が地域の活性化に関する取組事例を大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公開する。各年、継続的に事例紹介を重ねることにより、本計画期間内で200取組以上を紹介する。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。</p>	<p>【取組2の活動指標】 各加盟校からの情報提供/年1回以上 情報公開数40取組以上/年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供数 2022年度・2023年度：各加盟校からの情報提供(年1回)学生の地域での活動がわかる!大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校 情報一覧」を各年掲載。 ・情報公開数(上記以外) 2022年度実績:60取組 ・「大学間連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成業務」を継続中。(2023年4～12月) 参加者：計25名 (加盟校7校・学生19名、教職員2名、自治体4名)(9/13現在) 	A
④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進	<p>【取組1の目標】 本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上</p>	<p>【取組1】留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施(ひょうご留学生インターンシップ) 個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業、団体等を決定する。</p>	<p>【取組1の活動指標】 各年参加者数500名以上</p>	<p>2022年度 参加留学生数:8大学43名 受入団体・企業数:22(日本企業・文化理解が深まった割合97%) 【実施プログラム】 「ひょうご留学生インターンシップ」 ・日本語能力試験 集中講座 ・推薦学生ガイダンス ・推薦学生と企業の交流会 ・推薦学生事前面談 ・オリエンテーション、事前研修 ・事前訪問(7月中旬～8月中旬) ・企業・団体実習(8～9月中旬) ・事後研修、報告会</p> <p>2023年度 参加留学生数1165名 【実施プログラム】 「インターンシップ説明会(オンライン)」参加留学生:14大学115名 「インターンシップガイダンス」</p>	S

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				(2023/6/6) 参加留学生：13 大学 53 名 「学生と企業の交流会」 (2023/6/10) 参加留学生数：13 校 49 名 参加企業数：15 社 24 名 参加教職員数：2 校 2 名 「ビジネスマナー研修」 (2023/7/8) 参加留学生数：13 校 51 名 参加日本人学生数：5 校 11 名 参加教職員数：8 名 参加企業数：2 社 2 名 一般：16 名 「ひょうご留学生インターンシップ」 ・企業・団体実習 (8 月～9 月中旬) 参加留学生数：12 大学 40 名 受入団体・企業数：22 社 ・事後研修、報告会 (2023/9/16) 参加留学生数：12 校 40 名 参加教職員数：12 校 12 名 参加企業数：22 社 22 名 ・合同企業説明会 「外国人向け合同企業説明会」 (2023/6/21) 参加留学生数：817 名 参加企業数：61 社 【取組 1-2】 2022 年度参加留学生者数：1419 名（日本企業・文化理解が深まった割合：91%） （大学生対象） 「インターンシップ事後研修・報告会 2022」 (2022/9/17) 参加留学生数：8 校 43 名 参加企業数：22 社 ・ビジネス日本語講座 ①インターンシップ修了生との懇談会 (2022/6/8) 参加者留学生：8 校 48 名 参加企業：1 社 1 名 ②ビジネスマナー研修 (2022/6/25) 参加者留学生：8 校 43 名 参加企業：1 社 1 名 ③オンライン就職セミナー (2022/7/2) 参加留学生：8 校 38 名	

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				参加企業：3社3名 参加教職員数：2社2名 ④就活ﾌﾟﾗﾝﾈﾝｸﾞ ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ (2回開催) (2023/1/28) 参加留学生数:5校30名 参加企業数: 6社7名 参加教職員数:2校5名 行政等:1団体1名 (2023/3/26) 参加留学生数:30名 参加企業数:6社 8名 参加教職員数:1校4名 ・就職活動Q&A講座 「留学生×企業×大学意見交換」 (2022/9/17) 参加留学生数:8校35名 参加企業数:17社22名 参加教職員 数:9校10名 ・低学年向け就活準備講座の実施(計3 回) 「日本企業で働く魅力とは?(先輩に 聞く)」(2022/9/17) 参加留学生数: 8校37名、参加企業数:1社1名 「あるある日本」(2回開催) (2022/10/15、2023/1/20) 参加留学生数:17校104名 参加企業数:4社6名 参加教職員数:3校9名 ・兵庫県で活躍する外国籍社員動画(計 3本) ①メーカー編:(10/21公開) 閲覧数374回(2023/7/31現在) ②医療編:(12/27公開) 閲覧数299回(2023/7/31現在) ③人材派遣編:(2023/1/25公開) 閲覧数883回(2023/7/31現在) ・就活の概要や対策の情報動画 「成功する外国人留学生の就活」 ①謎だらけの日本の就職活動編 (2023/3/31公開) 閲覧数230回 ②外国人留学生の自分を活かす編 (2023/3/31公開) 閲覧数138回 ・大学と留学生採用に関心ある企業と	

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
		<p>・外国人留学生採用ワンストップ支援事業 高度な技術力や知識を有する外国人留学生の円滑な県内就職を促進するため、留学生と企業それぞれを対象として、留学生の採用から採用後の職場定着までを支援する事業を行う。</p>		<p>の情報交換会（2022/9/17） 参加企業数：15社20名 参加教職員：8校9名</p> <p>2023年度参加留学生数：88名 【実施プログラム】 ・外国人留学生採用ワンストップ相談窓口の設置・外国人留学生採用促進セミナーの開催・情報収集 参加留学生数：88名参加企業数：101社</p>	
⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進	<p>【取組1の目標】 本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上(期間中2回測定)</p>	<p>【取組1】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業（日本学生支援機構委託事業）において、大学間連携による国際交流の拠点を、兵庫国際交流会館を起点に大学キャンパス外の地域社会に形成する事を推進する。留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。</p>	<p>【取組1の活動指標】 各年参加者数 500名以上</p>	<p>2022年度：参加者数1951名 2023年度：参加者数716名 (2023年9月末時点) ・国際理解が深まった割合 英語村100%/ キャリアカフェ93.2% 『外国人留学生の活用と相互理解・共生推進のための事業』 ・ファシリテーションプロジェクト 2022年度145名(6/1-7/6、計6回) 2023年度131名(6/8-7/20、計7回) ・甲南女子大学生×留学生オンライン国際交流会 2022年度130名(9/21、10/19、11/15、12/7、1/31) 2023年度(9/26、10/17、11/21実施予定) 『高度外国人材としての留学生向けキャリアサポート』 ・英語でのキャリアイベント 2022年度270名(12/6、2/14) 2023年度64名(7/27、2月実施予定) ・キャリアカフェNada Global Village 2022年度全10回934名 2023年度全10回予定293名 (2023年9月末時点) ・防災教育「防災セミナー」 2022年度40名(11/12、3/18)</p>	S

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				2023年度 48名 (6/25、9/12 実施) ・地域連携プログラム 「英語村」: 2022年度 169名 (7/12、8/2、8/9) 2023年度 170名 (7/11、8/2) ・学生スタッフイベント企画会議 2022年度 230名/2023年度実施中 ・留学生・国際交流情報の発信事業・支援者間ネットワークの体制整備・情報交換会の実施 2022年度 33名 2023年度 10名 (2月実施予定)	
	【取組2の目標】 本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合: 参加学生の80%以上(期間中2回測定)	【取組2】 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進 大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを生かして、加盟校主催の国際交流イベントの情報を収集し、加盟校間の情報共有を行う。本計画期間内において、段階的に加盟校が主催する国際交流プログラムと連携することにより、大学の枠を超えた加盟校間の留学生・日本人学生等の交流を促進させる。	【取組2の活動指標】 プログラム数 10件以上	[活動指標] 2022年度: プログラム件数1件 2023年度: プログラム件数3件 (9月末時点) [達成目標] 国際理解が深まった割合 ・模擬国連演習 100% ・ファシリテーションプロジェクト演習 90.1% [事業概要] ・模擬国連演習 (神戸市外国語大学) 2022年度 298名 (8/6-12/3) ・学生海外派遣プログラム (神戸常盤大学) 2023年度9月実施 ・ファシリテーションプロジェクト (兵庫大学) 2023年度 131名 (6/8-7/20、計7回) ・日本文化体験で繋がる学生の輪 剣道体験から知る面白い日本文化 (甲南女子大学) 2023年度 93名 (7/8) ・インターナショナルバスツアー (兵庫大学)	S

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進	【取組1の目標】 各年セミナー数 5件以上	【取組1】 加盟校間でのFD・SDセミナーの公開 加盟校が自学で開講している多様な研修プログラムを加盟校に開放することにより、加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供する。 教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。	【取組1の活動指標】 参加者数 100人以上/年	2023年度 10/14・15 実施予定 ・加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開 2022年度：13件、計1015名 2023年度：13件、計332名 (9/13現在) ・「大学運営」に関する科目の受講支援 2022年度後期講座受講数： 4校8名(当協議会加盟校)	A
	【取組2の目標】 各年参加者数 50名以上	【取組2】 FD・SD情報交換会、セミナー等の開催 加盟校に有益な公開セミナーを実施することで、教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。	【取組2の活動指標】 開催数：3回以上/年	・公開セミナー 2022年度：3回、計167名 2023年度：1回、計127名 2022年度実績： ・FD・SDトップセミナー GIGAスクール構想がもたらす大学教育への影響-次代の学生像を考える- (2022/8/3) 参加者：計113名(加盟校19校67名、非加盟校32校36名、その他団体・企業4社5名、コンソ事務局5名) ・内部質保証システムに関するセミナー ―今こそ、基本的な考え方に立ち返り、実質化を考えたい！ (2022/12/23) 参加者：計35名(加盟校15校33名、コンソ事務局2名) ・内部質保証セミナー-教学データ活用実習 (2023/2/24) 参加者：計19名(加盟校9校16名、非加盟校1校1名、コンソ事務局2名) 2023年度： ・FD・SDセミナー いま一度整理しよう！令和4年度大学設置基準等の改正を学ぶ！令和4年度大学設置基準改正について (2023/9/5) 参加者：計130名(加盟校17校、非加盟校37校、その他団体・企業4社、コンソ事務局6名)	A

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応	【取組1の目標】 各年開放科目数 10科目以上	【取組1】単位互換事業の実施 加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。	【取組1の活動指標】 送り出し校数 5校/年	2022年度実績： 開放科目数：15校85科目 受講者：8校42名 2023年度 開放科目数：17校82科目 受講者：6校17名(9/13現在)	A
	【取組2の目標】 各年プログラム数 5件以上	【取組2】多様な学修機会の提供 加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、段階的に加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する (ICTを活用したコンテンツ、専門領域や分野横断型のプログラム等)。	【取組2の活動指標】 参加者数 50人以上/年	【取組2の活動指標】 ・多様な学修機会の提供 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 2022年度：7校17講座 参加者：計235名 2023年度：2校3講座(9/13現在) ・ICTを活用したコンテンツ 「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」の試行運用： 2022年度：9校/2023年度：9校(9/13現在) ・教育コンテンツ提案「WG」の開催： 2022年度：2回/2023年度：1回 2022年度実績： 第1回「教育コンテンツ提案」ワーキンググループ(2022/7/22) 参加者：計7校11名 第2回「教育コンテンツ提案」ワーキンググループ(2022/12/19) 参加者：計8校18名 2023年度： 「近年の生成系AIをめぐる大学教育の動向について」(2023/7/19) 参加者：計13名(加盟校5校10名)(9/13現在)	A
⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進	【取組1の目標】 各年参加者数 50名以上	【取組1】リカレント教育の普及促進に向けた取組 加盟校によるリカレント教育の推進・理解促進に向けたセミナー・情報交換会等を開催する。産官学で連携したリカレント教育推進に関するネットワークを構築する。	【取組1の活動指標】 大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)	【取組1の活動実績】 2022年度実績：2回・143名 ・「リカレントフォーラム2022～大学と企業のプラットフォームで取り組む“大学の実践例”から考える」(2022/11/30) 参加者：計84名	A

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				<ul style="list-style-type: none"> ・「リカレントフォーラム vol.2 大学と企業が連携したリカレント教育のあり方を考える」(2023/3/17) 参加者：計59名 2023年度： 年度内にリカレント教育先進大学等による講演、及び県内大学と企業の意見交換会を各1回実施予定 	
	【取組2の目標】 各年10校以上	【取組2】加盟校のリカレント教育に関する情報発信 大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページで加盟校が開講するリカレント教育に関する取組情報を発信する。	【取組2の活動指標】 大学・企業関係者による講演・意見交換会（年1回以上）	【取組2の活動実績】 2022年度実績：2回・143名 <ul style="list-style-type: none"> ・「リカレントフォーラム 2022～大学と企業のプラットフォームで取り組む“大学の事例”から考える」(2022/11/30) /参加者：計84名 ・「リカレントフォーラ vol.2 大学と企業が連携したリカレント教育のあり方を考える」(2023/3/17) 参加者：計59名 2023年度： ・年度内にリカレント教育先進大学等による講演、及び県内大学と企業の意見交換会を各1回実施予定 ・大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページ上「リカレントフェア」サイトにて、通年で講座情報を発信。 2022年度：掲載数11校29講座 2023年度：掲載数23校40講座 	A
⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成	【取組1の目標】 大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充	【取組1】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 兵庫県下で大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制を本計画期間内において、段階的に構築する。また、加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。	【取組1の活動指標】 大学・企業関係者による意見交換会（年1回以上）	【取組1の活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県下における大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制について意見交換を企画運営委員会にて実施。(対象：企画運営委員会) 2022年度実績12回開催、 2023年度月1回の定期開催を予定。 ・大学間連携・地域・地方自治体との連携体制として、ひょうご産官学連携協議会総会及び報告会の開催、賛助会員 	A

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				様と加盟校代表者様との懇親会等を実施 ひょうご産官学連携協議会 2022年度実績： 2022/10/25、2023/3/22 2023年度： 2023/10/25、2024/3 開催予定 ひょうご産官学連携協議会活動報告会(地域住民を対象に実施、意見交換を行う取組) 2022年度実績：2022/10/25 2023年度：2024/3 開催予定 賛助会員と加盟校の懇親会 2022年度実績：(2022/12/7) 参加者：計97名 ・その他 HPにて意見募集サイトを開設中。企業・経済団体から頂いた課題を、加盟校の知を活かして解決する「企業課題解決プログラム」を開始し、具体的な連携を行うことで関係性の深化を図る。	
	【取組2の目標】 緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築	【取組2】 緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築 感染症(新型コロナウイルス感染症等)や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、定期的に加盟校が蓄積する経験や知見の情報収集を行い、共有する。本計画期間内において、段階的に情報共有を重ねることにより、有事の際に速やかに情報共有・情報提供ができる体制の構築を目指す。	【取組2の活動指標】 大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)	【取組2の活動実績】 「リスクマネジメント体制について」の懇談を実施、「緊急時連絡・連携体制図」を作成後、リスクに関する情報交換会を定期的に開催し、具体的な運用について議論する。 2022年度実績： ・企画運営委員会での意見交換 ・産業界へのヒアリング・意見交換 ・リスクに関する情報連絡会 参加者：計51名 2023年度： ・リスクに関する情報連絡会開催(5/25、9/14)	A

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備	【取組1の目標】 加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築	【取組1】加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進 加盟校教職員が大学間連携活動に積極的に参画できる事業運営体制を本計画期間内において、段階的に検討・構築する。 同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進等のニーズに合わせて、事業運営体制の整備に取り組む。	【取組1の活動指標】 企画運営委員会等における懇談の実施（年10回以上）	・企画運営委員会 加盟校がコンソーシアム活動に積極的に参画できる事業運営体制を円滑に推進するため、中長期計画Ⅱ期、リスクマネジメント体制、事業運営体制の整備（事業委員会体制）リカレント教育等について議論 2022年度実績12回開催 2023年度：月1回開催 ・事業運営の効率化、プロセスの可視化や情報管理・共有の充実 ①HP：加盟校専用ページ 各事業委員会活動や中長期計画Ⅱ期のロードマップの共有化 ②HP：トップページ 加盟校の公開講座等のイベント情報を随時更新 ③NOTE 事業委員会活動の実施報告、加盟校学生の地域活性化に関わる取組広報 ④SNS（Facebook・Twitter・Instagram） 事業委員会活動の案内 ⑤メルマガ配信 加盟校教職員に月1回情報発信	A

文 書 番 号
令和5年 月 日

文部科学省高等教育局

私学部長 茂 里 毅 殿

日本私立学校振興・共済事業団

理事長 福 原 紀 彦 殿

学 校 法 人 甲南学園

理 事 長 長坂 悦敬

令和5年度 私立大学等改革総合支援事業に係る調査について(回答)

令和5年7月24日付け5文科高604号及び私振補第25号による標記調査依頼にあたり、以下の(1)～(2)について確認したうえで、下記及び別紙調査票のとおり回答します。

- (1) 全ての設問への回答について、要件を確認し、別紙 回答確認書を作成して提出します。
- (2) 回答内容の根拠となる資料を大学等で整備・保管しています。

法人番号	281006
学校法人名	甲南学園

		タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4
学校コード*	A01	▼	▼	「プラットフォーム型」 で申請する	▼
学 校 名	甲南大学				
学校コード*	▼	▼	▼	▼	▼
学 校 名					
学校コード*	▼	▼	▼	▼	▼
学 校 名					
学校コード*	▼	▼	▼	▼	▼
学 校 名					
学校コード*	▼	▼	▼	▼	▼
学 校 名					
学校コード*	▼	▼	▼	▼	▼
学 校 名					

令和5年度 私立大学等改革総合支援事業調査票3

【タイプ3：地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型：共通設問）】

プラットフォーム名称
ひょうご産官学連携協議会

申請取りまとめ校			
法人番号	学校コード	学校法人名	学 校 名
281006	A01	甲南学園	甲南大学

各設問について、選択肢から該当するものを一つ選び、回答欄のプルダウン（▼）から選択肢の番号を選択してください。

【基礎要件】プラットフォーム構築に必要な体制の整備			
基礎要件	プラットフォーム構築に必要な体制を整備している。	回答	結果
1	整備している。	1	申請できません
2	整備していない。		
1. 推進体制の構築			
①	プラットフォームにおける協議体制の運営支援及びプラットフォームの中長期計画の実施を推進するため、基礎要件の意思決定体制や定期的な協議の実績とは別に、企画立案、連絡調整、進捗管理などを行う事務局体制を整備していますか。	回答	得点
1	複数の組織の構成員からなる常設の事務局を整備している。または、複数の組織の構成員からなる委員会形式の事務局（月1回以上の開催）を整備している。	1	2
2	単独の組織の構成員からなる常設の事務局を整備している。または、複数の組織の構成員からなる委員会形式の事務局（月1回未満の開催）を整備している。		
3	整備していない。		
②	プラットフォーム参画大学等と、地方自治体との間で包括連携協定等を締結し、協議体制を構築していますか。	回答	得点
1	包括連携協定等を締結しており、地方自治体の長が定期的に参加する協議体制を構築している。	2	2
2	包括連携協定等を締結しており、地方自治体の担当者が年4回以上定期的に参加する協議体制を構築している。		
3	上記に該当しない。		
③	プラットフォーム参画大学等と、産業界等との間で包括連携協定等を締結し、協議体制を構築していますか。	回答	得点
1	包括連携協定等を締結しており、年2回以上定期的に参加する協議体制を構築している。	1	2
2	包括連携協定等を締結しており、年1回以上定期的に参加する協議体制を構築している。		
3	上記に該当しない。		
④	地方自治体から、プラットフォームの運営に対する支援がありますか。	回答	得点
1	プラットフォームの運営そのものに対する支援及び個別の取組に対する支援の両方がある。	3	1
2	プラットフォームの運営そのものに対する支援がある。		
3	プラットフォームが実施する個別の取組に対する支援がある。		
4	支援がない。		

令和5年度 私立大学等改革総合支援事業調査票3

【タイプ3：地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型：共通設問）】

プラットフォーム名称
ひょうご産官学連携協議会

申請取りまとめ校			
法人番号	学校コード	学校法人名	学校名
281006	A01	甲南学園	甲南大学

⑤	産業界等から、プラットフォームの運営に対する支援がありますか。	回答	得点
1	プラットフォームの運営そのものに対する支援及び個別の取組に対する支援の両方がある。	3点	1 3
2	プラットフォームの運営そのものに対する支援がある。	2点	
3	プラットフォームが実施する個別の取組に対する支援がある。	1点	
4	支援がない。	0点	

2. 中長期的な計画

⑥	活性化対象地域における高等教育の各種の課題に対して、具体的な数値で設定された活動指標及び取組全体に係る成果としてのアウトカム指標を設定し、達成状況等を踏まえ検証及び取組の改善を行っていますか。	回答	得点
1	10種類以上の活動指標と、2種類以上のアウトカム指標を設定し、達成状況等を踏まえ検証・改善を行っている。	2点	1 2
2	5～9種類の活動指標と、2種類以上のアウトカム指標を設定し、達成状況等を踏まえ検証・改善を行っている。	1点	
3	上記のいずれにも該当しない。	0点	

⑦	プラットフォームにおいて、活性化対象地域における高等教育のグランドデザインについて継続的な議論を行っていますか。	回答	得点
1	実施し、議論の取りまとめ等を一般に公表している。	2点	1 2
2	実施している。	1点	
3	実施していない。	0点	

⑧	プラットフォームの活動等について、幅広い地域社会の意見を反映させるため、地域住民等からの意見募集等、地域の声を把握する取組を実施していますか。	回答	得点
1	実施している。	1点	1 1
2	実施していない。	0点	

3. 個別取組

⑨	プラットフォームにおいて、活性化対象地域におけるリスクマネジメント体制を構築していますか。	回答	得点
1	構築している。	3点	1 3
2	構築していない。	0点	

⑩	プラットフォームにおいて、プラットフォーム間の共同研究の活性化に向けた議論及び共同研究を実施していますか。	回答	得点
1	議論及び共同研究を実施している。	2点	1 2
2	共同研究は実施していないが、議論は実施している。	1点	
3	上記のいずれにも該当しない。	0点	

令和5年度 私立大学等改革総合支援事業調査票3

【タイプ3：地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型：共通設問）】

プラットフォーム名称
ひょうご産官学連携協議会

申請取りまとめ校			
法人番号	学校コード	学校法人名	学 校 名
281006	A01	甲南学園	甲南大学

⑪	プラットフォームにおいて、活性化対象地域の教育支援活動を行っていますか。	回答	得点
1	半数以上の大学等が取組を実施した。	1点	1
2	上記に該当しない。	0点	
⑫	プラットフォームにおいて、共同の公開講座を実施しましたか。	回答	得点
1	10講座以上実施した。	2点	1
2	5～9講座実施した。	1点	
3	上記のいずれにも該当しない。	0点	
⑬	プラットフォームにおいて、社会人を対象としたキャリア形成等を目的とする共同プログラムを、産業界等と共同で企画し、複数のプラットフォーム参画大学等で実施していますか。	回答	得点
1	実施した。	2点	1
2	企画のみしている。	1点	
3	企画・実施いずれもしていない。	0点	
⑭	プラットフォームにおいて、活性化対象地域への就職を促進するための、地方自治体又は産業界等との共同の取組について企画又は実施していますか。	回答	得点
1	プラットフォーム参画大学等の7割以上の大学等が実施した。	2点	1
2	上記には当てはまらないが実施又は企画している。	1点	
3	企画・実施いずれもしていない。	0点	
⑮	プラットフォーム参画大学等において共同でIRを実施し、結果を地方自治体及び産業界等と共有及び改善の協議等を行っていますか。	回答	得点
1	共同でIRを実施し、結果を地方自治体及び産業界等と共有及び議論等を行っている。	2点	1
2	共同でIRを実施している。	1点	
3	実施していない。	0点	
⑯	プラットフォームにおいて共同のFD又はSDを実施しましたか。	回答	得点
1	FD又はSDを複数回実施した。	2点	1
2	FD又はSDを実施した。	1点	
3	上記のいずれにも該当しない。	0点	

令和5年度 私立大学等改革総合支援事業調査票3

【タイプ3：地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型：共通設問）】

プラットフォーム名称
ひょうご産官学連携協議会

申請取りまとめ校			
法人番号	学校コード	学校法人名	学 校 名
281006	A01	甲南学園	甲南大学

⑰	プラットフォームにおいて、教職員の人事交流を企画又は実施していますか。	回答	得点
1	地方自治体又は産業界等と大学等の間、及びプラットフォーム参画大学等の間で企画又は実施している。	4点	1 4
2	地方自治体又は産業界等と大学等の間で企画又は実施している。	2点	
3	プラットフォーム参画大学等間で企画又は実施している。	1点	
4	上記のいずれにも該当しない。	0点	
⑱	プラットフォーム参画大学等で施設・設備を共同で利用していますか。	回答	得点
1	複数種類の施設・設備を共同利用している。	2点	1 2
2	共同利用している。	1点	
3	上記のいずれにも該当しない。	0点	
⑲	プラットフォーム参画大学等の間で、大学事務の共同実施をしていますか。	回答	得点
1	実施している。	3点	2 1
2	実施はしていないが、実施に向けた検討を複数回行っている。	1点	
3	上記に該当しない。	0点	
⑳	プラットフォーム参画大学等において、以下の学生募集活動等に係る取組を行っていますか。 ア 共同で高等学校、高校生、又はその保護者へのニーズ調査を実施している。 イ 共同の説明会又は高等学校訪問、及び共通のホームページ、パンフレット等による広報活動を行っている。 ウ 外国人留学生対象の合同大学説明会、もしくは合同による外国人留学生選抜試験を実施している。 エ 地域枠の奨学金の設定等、地域における学生の就学を経済的に支援する取組を行っている。	回答	得点
1	4つ実施している。	4点	3 2
2	3つ実施している。	3点	
3	2つ実施している。	2点	
4	上記のいずれにも該当しない。	0点	
㉑	プラットフォーム参画大学等の間で、授業科目を共同で開発し、開講していますか。	回答	得点
1	開講している。	2点	1 2
2	開講していない。	0点	

令和5年度 私立大学等改革総合支援事業調査票3

【タイプ3：地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型：共通設問）】

プラットフォーム名称
ひょうご産官学連携協議会

申請取りまとめ校			
法人番号	学校コード	学校法人名	学 校 名
281006	A01	甲南学園	甲南大学

⑳	プラットフォーム参画大学等の中で、単位互換等の授業科目についてプラットフォーム大学等間共通のシラバスを作成していますか。		回答	得点
	1	作成している。	1	2
	2	作成していない。		
㉑	プラットフォーム参画大学等間で共同利用するe-ラーニングシステムを導入していますか。		回答	得点
	1	導入している。	1	2
	2	導入していない。		

根拠資料・要件確認	回答	合計点
すべての設問について、要件を確認し、根拠資料を整備しましたか。	確認済	46点

調査票取りまとめ担当者		
所属部課名	氏名	電話番号
学長室	フリガナ オハシ ユタ	078-435-2663□
	大橋 祐太	

令和5年度 私立大学等改革総合支援事業プラットフォーム参画団体等一覧
【タイプ3：地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型）】

1. プラットフォームの名称

・共通設問調査票で設定したプラットフォーム名を入力してください。

ひょうご産官学連携協議会

2. 活性化の対象として設定する「活性化対象地域」

- ・「活性化対象地域」として設定した、都道府県名や市区町村名を記入してください。
- ・市区町村名の場合は、そのあとに()をつけて都道府県名を記入してください。
- ・設定した「活性化対象地域」に応じて、都市型・地方型のいずれかを選択してください。

市区町村	①市区町村名（都道府県）	②市区町村名（都道府県）	③市区町村名（都道府県）	④市区町村名（都道府県）	
	⑤市区町村名（都道府県）	⑥市区町村名（都道府県）	⑦市区町村名（都道府県）	⑧市区町村名（都道府県）	
	⑨市区町村名（都道府県）	⑩市区町村名（都道府県）	⑪市区町村名（都道府県）	⑫市区町村名（都道府県）	
	⑬市区町村名（都道府県）	⑭市区町村名（都道府県）	⑮市区町村名（都道府県）	⑯市区町村名（都道府県）	
	⑰市区町村名（都道府県）	⑱市区町村名（都道府県）	⑲市区町村名（都道府県）	⑳市区町村名（都道府県）	
	㉑市区町村名（都道府県）	㉒市区町村名（都道府県）	㉓市区町村名（都道府県）	㉔市区町村名（都道府県）	
	㉕市区町村名（都道府県）	㉖市区町村名（都道府県）	㉗市区町村名（都道府県）	㉘市区町村名（都道府県）	
	㉙市区町村名（都道府県）	㉚市区町村名（都道府県）	㉛市区町村名（都道府県）	㉜市区町村名（都道府県）	
	㉝市区町村名（都道府県）	㉞市区町村名（都道府県）	㉟市区町村名（都道府県）	㊱市区町村名（都道府県）	
	㊲市区町村名（都道府県）	㊳市区町村名（都道府県）	㊴市区町村名（都道府県）	㊵市区町村名（都道府県）	
	㊶市区町村名（都道府県）	㊷市区町村名（都道府県）	㊸市区町村名（都道府県）	㊹市区町村名（都道府県）	
	㊺市区町村名（都道府県）	㊻市区町村名（都道府県）	㊼市区町村名（都道府県）	㊽市区町村名（都道府県）	
	㊾市区町村名（都道府県）	㊿市区町村名（都道府県）	㊿市区町村名（都道府県）	㊿市区町村名（都道府県）	
	㊿市区町村名（都道府県）	㊿市区町村名（都道府県）	㊿市区町村名（都道府県）	㊿市区町村名（都道府県）	
	都道府県	①都道府県名	②都道府県名	③都道府県名	④都道府県名
		兵庫県			
⑤都道府県名		⑥都道府県名	⑦都道府県名	⑧都道府県名	
⑨都道府県名		⑩都道府県名	⑪都道府県名	⑫都道府県名	
⑬都道府県名		⑭都道府県名	⑮都道府県名	⑯都道府県名	

（都市型・地方型の区分）

都市型

3. プラットフォーム参画大学等一覧 【私立】

	①学校番号		②私立大学等名称 (正式名称)	③大学等の主たる 所在地 (都道府県・市区町村名)	④地域内のキャンパス名 *複数ある場合は一つ記入 *キャンパスが分かれてい ない場合は「本部」と記入 *活性化対象地域内にキャン パス等がない場合は空欄	⑤④のキャンパス所在地 (都道府県・市区町村名)	⑥ 活性化対象 地域内か		⑦ P F 型 申請
	法人番号	学校コード					主たる 所在地	キャン パス	
1	281001	A01	芦屋大学	兵庫県芦屋市	六麓荘キャンパス	兵庫県芦屋市	○	○	▼
2	271012	A01	大手前大学	兵庫県西宮市	さくら夙川キャンパス	兵庫県西宮市	○	○	○
3	271012	B01	大手前短期大学	兵庫県西宮市	本部	兵庫県西宮市	○	○	○
4	281021	A01	関西国際大学	兵庫県三木市	三木キャンパス	兵庫県三木市	○	○	○
5	271032	A01	関西福祉大学	兵庫県赤穂市	本部	兵庫県赤穂市	○	○	▼
6	281004	A01	関西学院大学	兵庫県西宮市	西宮上ヶ原キャンパス	兵庫県西宮市	○	○	○
7	281004	B01	聖和短期大学	兵庫県西宮市	西宮聖和キャンパス	兵庫県西宮市	○	○	▼
8	281006	A01	甲南大学	兵庫県神戸市東灘区	岡本キャンパス	兵庫県神戸市東灘区	○	○	○
9	281007	A01	甲南女子大学	兵庫県神戸市東灘区	本部	兵庫県神戸市東灘区	○	○	▼
10	401004	A03	神戸医療未来大学	兵庫県神崎郡福崎町	姫路キャンパス	兵庫県神崎郡福崎町	○	○	▼
11	281003	A01	神戸海星女子学院大学	兵庫県神戸市灘区	本部	兵庫県神戸市灘区	○	○	▼
12	281009	A01	神戸学院大学	兵庫県神戸市中央区	ポートアイランドキャンパス	兵庫県神戸市中央区	○	○	○
13	271022	A02	神戸芸術工科大学	兵庫県神戸市西区	本部	兵庫県神戸市西区	○	○	▼
14	281016	A01	神戸国際大学	兵庫県神戸市東灘区	本部	兵庫県神戸市東灘区	○	○	▼
15	281011	A01	神戸松蔭女子学院大学	兵庫県神戸市灘区	本部	兵庫県神戸市灘区	○	○	○
16	281008	A01	神戸女学院大学	兵庫県西宮市	本部	兵庫県西宮市	○	○	▼
17	281017	A01	神戸女子大学	兵庫県神戸市須磨区	須磨キャンパス	兵庫県神戸市須磨区	○	○	▼
18	281017	B01	神戸女子短期大学	兵庫県神戸市中央区	本部	兵庫県神戸市中央区	○	○	▼
19	281012	A01	神戸親和大学	兵庫県神戸市北区	鈴蘭台キャンパス	兵庫県神戸市北区	○	○	○
20	281031	A01	神戸常盤大学	兵庫県神戸市長田区	本部	兵庫県神戸市長田区	○	○	○
21	281031	B01	神戸常盤大学短期大学部	兵庫県神戸市長田区	本部	兵庫県神戸市長田区	○	○	▼
22	281010	A01	神戸薬科大学	兵庫県神戸市東灘区	本部	兵庫県神戸市東灘区	○	○	▼
23	282004	B01	頌栄短期大学	兵庫県神戸市東灘区	本部	兵庫県神戸市東灘区	○	○	▼
24	281014	A01	園田学園女子大学	兵庫県尼崎市	本部	兵庫県尼崎市	○	○	▼
25	281014	B01	園田学園女子大学短期大学部	兵庫県尼崎市	本部	兵庫県尼崎市	○	○	▼
26	271053	A01	宝塚医療大学	兵庫県宝塚市	本部	兵庫県宝塚市	○	○	▼
27	281029	A01	姫路大学	兵庫県姫路市	本部	兵庫県姫路市	○	○	▼
28	111005	A03	姫路獨協大学	兵庫県姫路市	本部	兵庫県姫路市	○	○	▼
29	281020	A01	兵庫大学	兵庫県加古川市	本部	兵庫県加古川市	○	○	▼
30	281020	B01	兵庫大学短期大学部	兵庫県加古川市	本部	兵庫県加古川市	○	○	▼
31	281019	A01	流通科学大学	兵庫県神戸市西区	本部	兵庫県神戸市西区	○	○	▼
32		▼					▼	▼	▼
33		▼					▼	▼	▼
34		▼					▼	▼	▼
35		▼					▼	▼	▼
36		▼					▼	▼	▼
37		▼					▼	▼	▼
38		▼					▼	▼	▼
39		▼					▼	▼	▼
40		▼					▼	▼	▼

【私立】（続き）

	①学校番号		②私立大学等名称 (正式名称)	③大学等の主たる 所在地 (都道府県・市区町村名)	④地域内のキャンパス名 *複数ある場合は一つ記入 *キャンパスが分かれてい ない場合は「本部」と記入 *活性化対象地域内にキャン パス等がない場合は空欄	⑤④のキャンパス所在地 (都道府県・市区町村名)	⑥ 活性化対象 地域内か		⑦ P F 型 申請
	法人番号	学校コード					主たる 所在地	キャン パス	
41		▼					▼	▼	▼
42		▼					▼	▼	▼
43		▼					▼	▼	▼
44		▼					▼	▼	▼
45		▼					▼	▼	▼
46		▼					▼	▼	▼
47		▼					▼	▼	▼
48		▼					▼	▼	▼
49		▼					▼	▼	▼
50		▼					▼	▼	▼
51		▼					▼	▼	▼
52		▼					▼	▼	▼
53		▼					▼	▼	▼
54		▼					▼	▼	▼
55		▼					▼	▼	▼
私立大学等合計			(イ) 31				(ロ)	(ハ)	(ニ)
							31	31	9

【国立・公立】

	①区分		②国公立大学等名称 (正式名称)	③大学等の主たる 所在地 (都道府県・市区町村名)	④地域内のキャンパス名 *複数ある場合は一つ記入 *キャンパスが分かれてい ない場合は「本部」と記入 *活性化対象地域内にキャン パス等がない場合は空欄	⑤④のキャンパス所在地 (都道府県・市区町村名)	⑥ 活性化対象 地域内か	
	国公区分	学校種					主たる 所在地	キャン パス
1	国立	高専	独立行政法人国立高等専門学校機構明石工業高等専門学校	兵庫県明石市	本部	兵庫県明石市	○	○
2	国立	大学	国立大学法人神戸大学	兵庫県神戸市灘区	六甲第1キャンパス	兵庫県神戸市灘区	○	○
3	国立	大学	国立大学法人兵庫教育大学	兵庫県加東市	加東キャンパス	兵庫県加東市	○	○
4	公立	大学	神戸市公立大学法人神戸市外国語大学	兵庫県神戸市西区	本部	兵庫県神戸市西区	○	○
5	公立	大学	公立大学法人神戸市看護大学	兵庫県神戸市西区	本部	兵庫県神戸市西区	○	○
6	公立	大学	兵庫県公立大学法人兵庫県立大学	兵庫県神戸市西区	神戸商科キャンパス	兵庫県神戸市西区	○	○
7	公立	大学	兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学	兵庫県豊岡市	本部	兵庫県豊岡市	○	○
8	▼	▼					▼	▼
9	▼	▼					▼	▼
10	▼	▼					▼	▼
11	▼	▼					▼	▼
12	▼	▼					▼	▼
13	▼	▼					▼	▼
14	▼	▼					▼	▼
15	▼	▼					▼	▼
国公立大学等合計			(ホ) 7				(ハ) 7	(ト) 7

プラットフォーム参画大学等数	(イ) + (ホ)	(チ) 38	
地域内にキャンパス等がある大学等数	(ハ) + (ト)	(リ) 38	地域内割合 (ヌ) = (リ) / (チ) ※少なくとも75%以上
			100.00%

4. プラットフォームに参画する地方自治体

	①地方自治体名 ※市区町村単位の場合には、()で都道府県を付記	②活性化対象 地域内か
1	兵庫県	○
2		▼
3		▼
4		▼
5		▼
6		▼
7		▼
8		▼
9		▼
10		▼
11		▼
12		▼
13		▼
14		▼
15		▼
16		▼
17		▼
18		▼
19		▼
20		▼

5. プラットフォームに参画する産業界等

	①産業界等名 (企業等の支部・支店含む。その場合は支部支店名も含めて記入)	②所在地 (都道府県・市区町村名)	③活性化対象 地域内か
1	兵庫県商工会連合会	兵庫県神戸市中央区	○
2	兵庫県中小企業家同友会	兵庫県神戸市中央区	○
3	兵庫県中小企業団体中央会	兵庫県神戸市中央区	○
4			▼
5			▼
6			▼
7			▼
8			▼
9			▼
10			▼
11			▼
12			▼
13			▼
14			▼
15			▼

作成担当者 学校名・所属・氏名	電話番号

令和5年度 私立大学等改革総合支援事業に係る地方自治体からの意見書
【タイプ3：地域社会の発展への貢献（プラットフォーム型）】

プラットフォーム名称
ひょうご産官学連携協議会

※「プラットフォーム名称」については、申請取りまとめ校にて記載ください。

本意見書は、私立大学等改革総合支援事業（タイプ3（プラットフォーム型））を申請するにあたり必要な書類であり、上記プラットフォームに参画している地方自治体からの意見を聴取させていただきます。なお、本意見書の内容を、選定の際に考慮する場合があります。

以下の各設問に記載ください。

1. 当該プラットフォームと貴地方自治体との関わりについて（令和4年9月1日～令和5年9月30日の実績）		
該当の有無	項目	具体的内容（可能な場合は定量的な記載としてください）
○	協議体制の整備	①R4/10/25第2回ひょうご産官学連携協議会総会でタイプ3PF申請審議、緊急時連絡・連携体制図等について報告 ②R5/3/22第3回ひょうご産官学連携協議会総会で来年度事業計画審議、タイプ3申請結果、事業状況等報告 ③毎月定例開催の企画運営委員会（兼）兵庫県との定例会でプラットフォームの運営、リカレント教育等協議
○	包括連携協定等の締結	H29/9/1、R3/9/1、R5/9/15「私立大学等改革総合支援事業（タイプ3）」に関する包括連携協定の一部を変更する協定を締結（変更理由：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の変更）
	資金支援	
	人員派遣	
	人事交流	
○	事業・プロジェクトの共同運営	①大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進事業（R5年度委託料：5,246千円）②R5年度外国人留学生採用フェスティバル支援事業（受託料：6,291千円）③リカレント教育推進事業（R5年度委託料：500千円） ④大学連携組織を活用した県民向け防災対策PR動画作成（R5年度委託料：1,000千円）
	公開講座等	
2. 貴地方自治体からの当該プラットフォームへの評価		
選択	項目	
A	<input type="checkbox"/> A 地域の振興に大きく役立っている。 <input type="checkbox"/> B 地域の振興に役立っている。 <input type="checkbox"/> C 地域の振興に今後役立つことが期待できる。 <input type="checkbox"/> D 地域の振興にあまり役立っていない。	
上記を選択した理由【自由記述】		
<p>①当該プラットフォームは、県内の大学・短期大学等の75%が参画している「(一社)大学コンソーシアムひょうご神戸」が中核となり、地域の活性化等の連携事業の実施に向け、本県や産業界と協議し取り組むなど、効率的な運営体制が確立している。</p> <p>②本県では、20歳代前半の人口流出が拡大傾向にあり、大学生の就職時点の流出抑制が課題となっている。このため、産業界も加入している当該プラットフォームを活用し、県内企業就職率向上のための事業や県内企業情報の発信など、地元定着のための就職支援事業に取り組み、地域の振興を寄与している。事業計画の策定や推進にあたっては、毎月開催される企画運営委員会に本県担当者が出席するなど県と緊密に連携を図っている。</p> <p>③また、令和2年度から（一社）大学コンソーシアムひょうご神戸を中核とする当該プラットフォームのネットワークを活用し、リカレントプラットフォームを開催するなどリカレント教育に対する気運醸成に貢献している。</p> <p>④複数大学等の連携によるメリットを生かし、留学生と日本人学生の交流事業を実施し、国際的な視野の育成と将来の人的ネットワークの形成による地域産業等のグローバル化の推進にも貢献している。</p> <p>⑤さらに、令和5年度は、県と連携し、外国人留学生・企業からの就職・採用相談窓口の設置や企業向け留学生採用・人材活用セミナーを実施するなど、人材不足解消に向けた外国人留学生の県内定着にも取り組んでいる。</p>		
3. 今後、貴地方自治体が当該プラットフォームに期待する役割【自由記述】		
<p>①当該プラットフォームに参画する各大学が、大学や産業界との連携や大学の垣根を越えた学びの環境の充実を図り、各々の大学の強みや特色を更に強化され、本県の高等教育の総合力や魅力を高めて欲しい。</p> <p>②当該プラットフォームの取組を通じて、多くの学生が本県の魅力、ふるさと意識、地域への誇り・愛着等を醸成し、卒業生・留学生が本県の地域産業の担い手となるなど、地域振興への更なる貢献を期待する。</p>		

地方自治体の方

ご 担 当 者		
所 属	電 話 番 号	氏 名
兵庫県総務部教育課	078-362-3368	太田 稔

大学コンソーシアムひょうご神戸
令和5年度 新入生対象 薬物に関する意識調査
報告書

1. 調査の目的
2. 調査の概要
3. 調査の結果
4. 調査のまとめ

令和5年（2023）年7月
一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

1. 調査の目的

大学コンソーシアムひょうご神戸では、薬物乱用防止に向けた啓発活動の一環として、薬物に関する学生の知識・関心等の現状を明らかにし、今後の薬物乱用防止策の企画・立案を行うとともに、調査を通じて新しく大学生活を始める新入生に薬物乱用防止の啓発を一層促進することを目的に本調査を実施いたしました。

2. 調査の概要

(1) 調査対象者

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟全38校の2023年度入学生

(2) 調査実施方法

- ①PC、タブレット、スマートフォン等を使って、下記のURLもしくはQRコードから回答フォーム（Microsoft Forms）に入って回答していただきました。
 - ②回答は1人につき1回のみ（必要時間はおよそ5分間）としました。
 - ③回答者を特定できないように氏名の記入欄は設けず、また個人のメールアドレスの収集も行いませんでした。
- <アンケート回答フォーム（Microsoft Forms）のURL及びQRコード>

(3) 調査実施期間

2023年5月13日（土）～6月30日（金）

(4) 調査主体

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

(5) 調査の内容

調査の内容は、次の23問です。

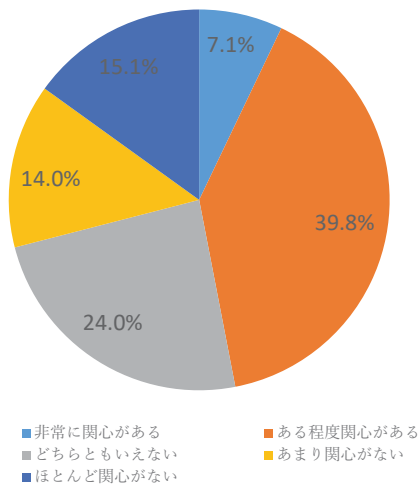
3. 調査の結果

本調査には、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の全38校の学生、計1,184名(前年度回答者は465名、対前年度比2.5倍)から回答を得ました。

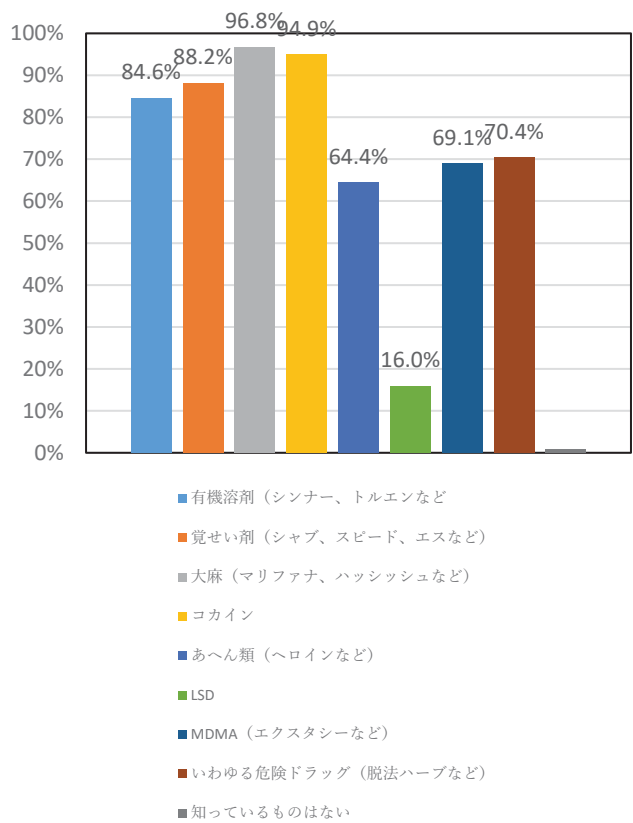
回答校一覧（38校）

明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸大学、神戸医療未来大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸国際大学、神戸市外国語大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、神戸薬科大学、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、宝塚医療大学、姫路大学、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫教育大学、兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学、流通科学大学

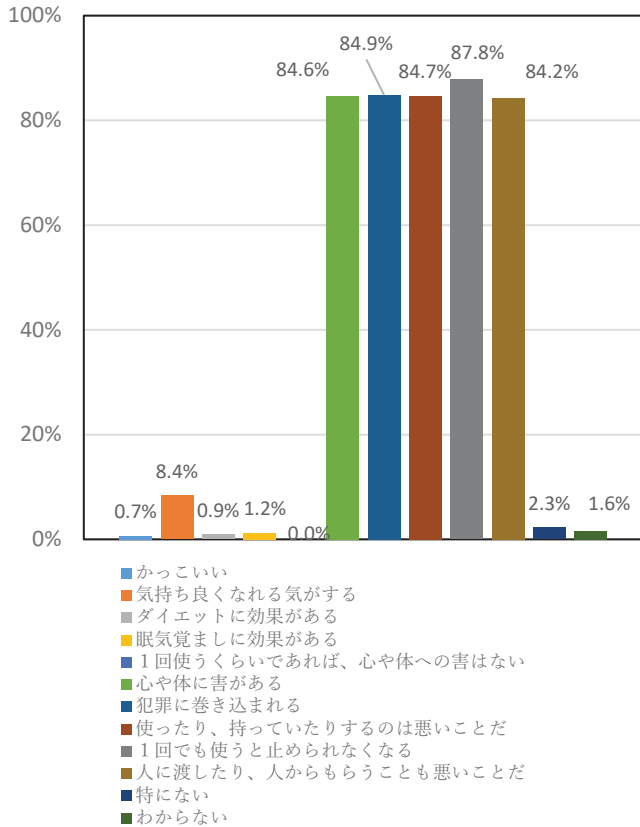
共通質問1) あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。(1つ選択) N=1182



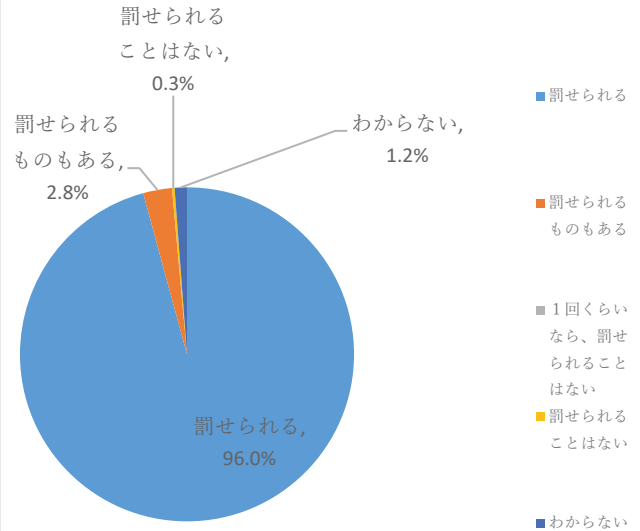
共通質問2) あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(複数選択可) N=1183



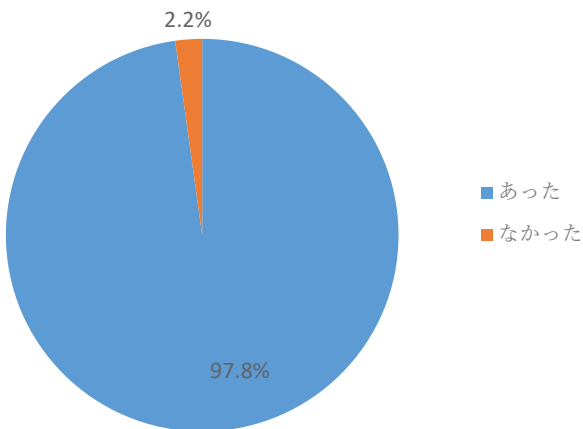
共通質問3) あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。(複数選択可)N=1183



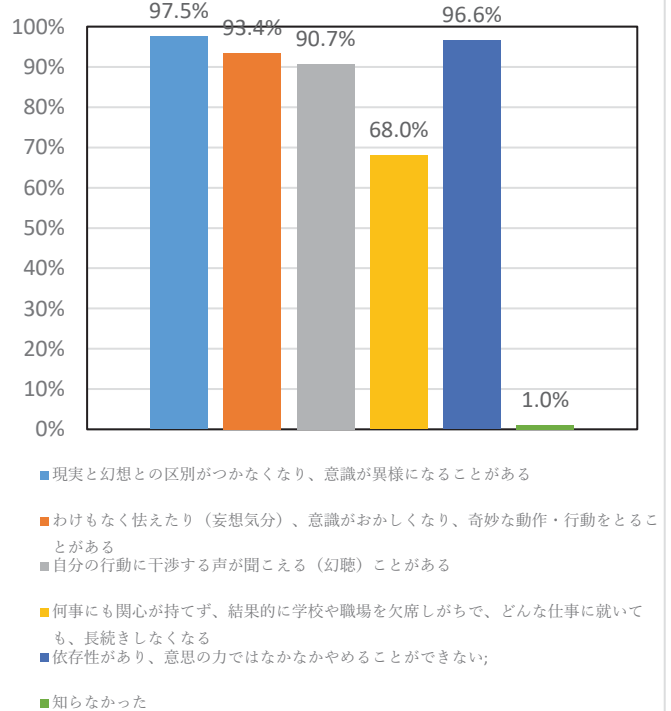
共通質問4) あなたは、これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、また、他人に譲渡したり、譲渡された場合、どうなるとお考えですか。(1つ選択) N=1180



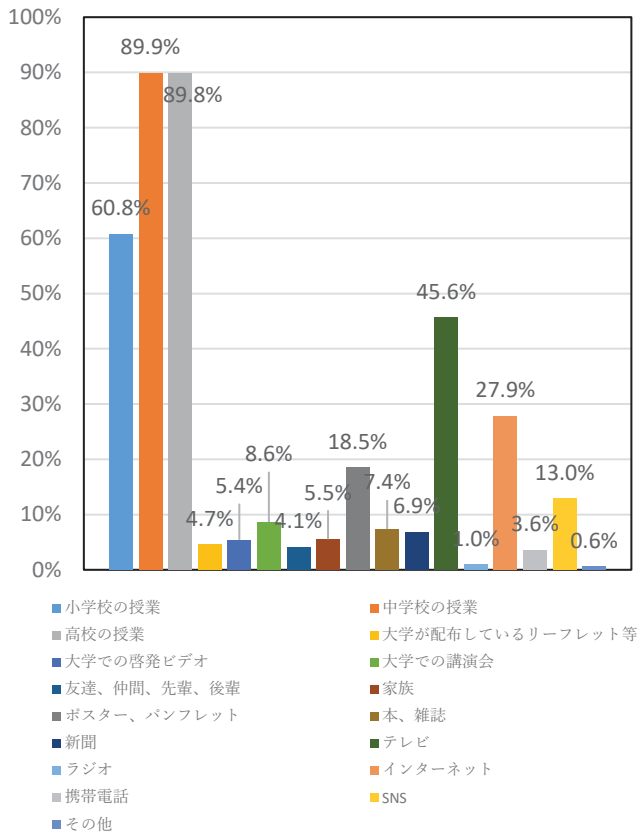
共通質問5) あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありますか。(どちらかを選択) N=1182



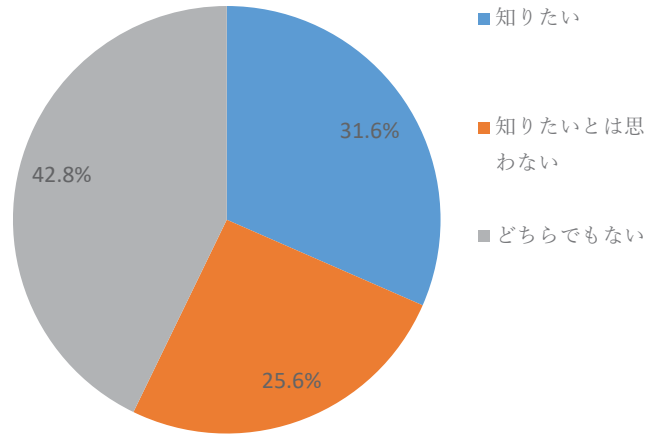
共通質問6) あなたは、薬物を使った場合、以下のようなことがあるのを知っていましたか。(複数選択可) N=1182



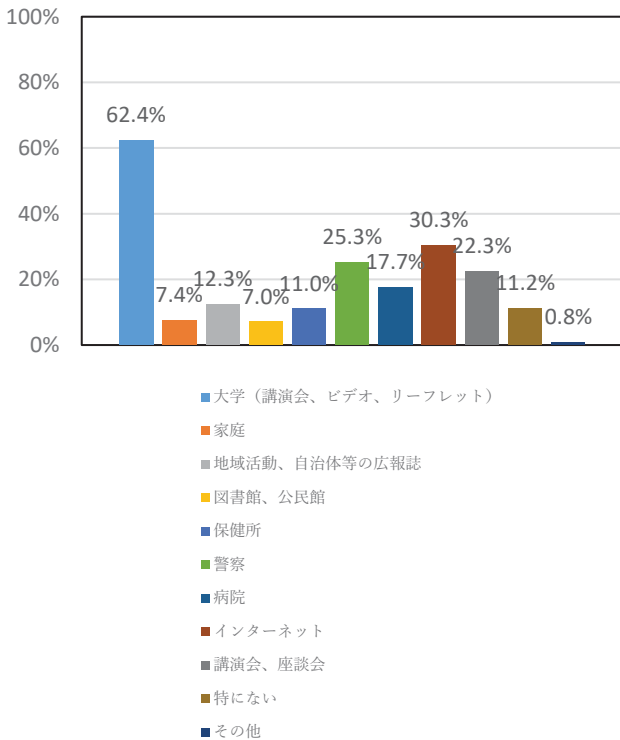
共通質問7) あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。(複数選択可) N=1181



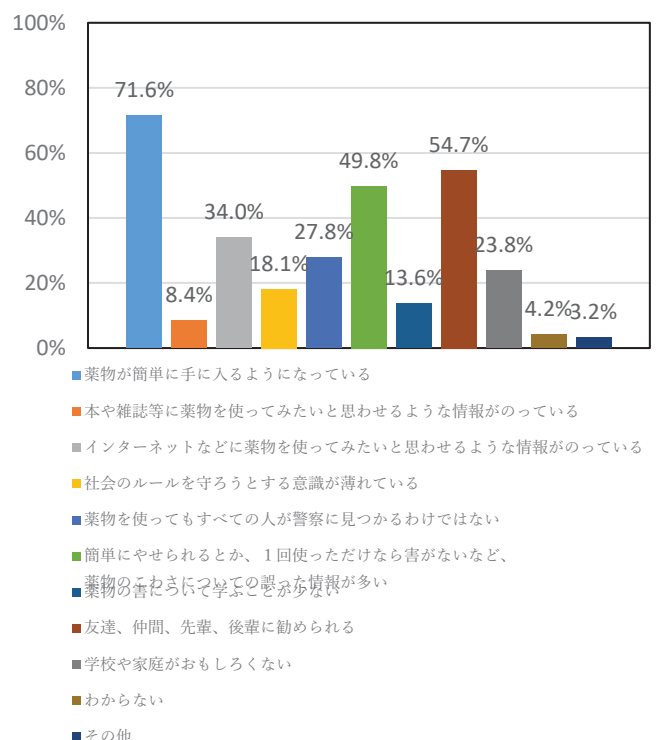
共通質問8) あなたは、これらの薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。(1つ選択) N=1182



共通質問9) あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(複数選択可) N=1182

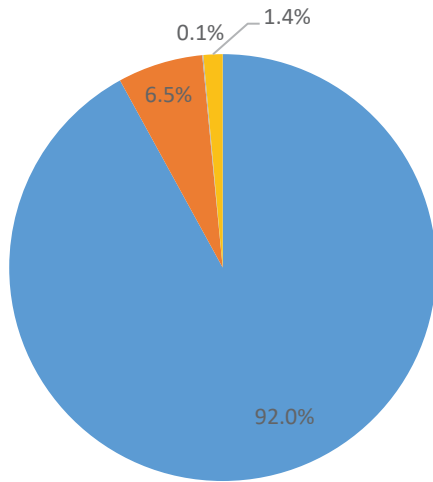


共通質問10) あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。(複数選択可) N=1180



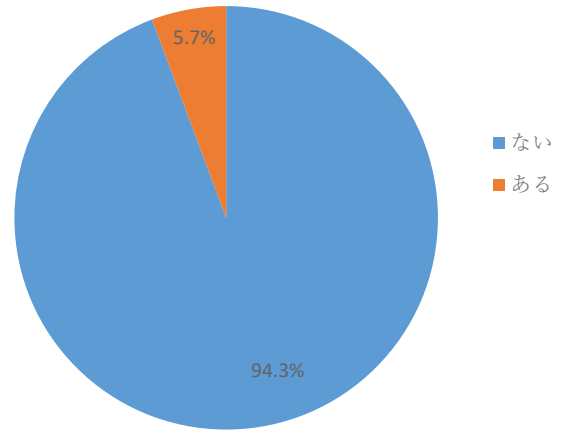
共通質問11) あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つ選択)

N=1177



- どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない
- 他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である
- 1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない
- その他

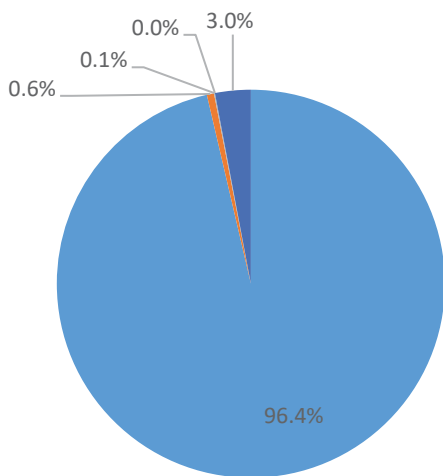
共通質問12) あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。<テレビ、映画、報道等で見たものは除きます> (どちらかを選択) N=1176



- ない
- ある

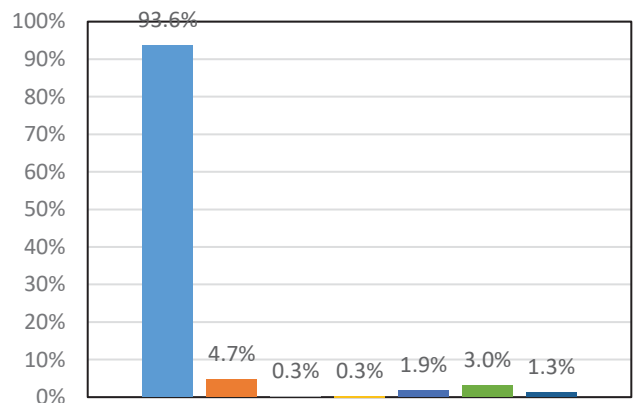
共通質問13) あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択)

N=1180



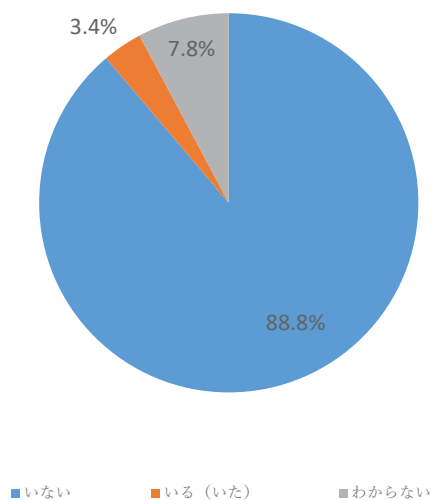
- 誘われたり、勧められたことはない
- 使用を誘われたことがある
- 購入を勧められたことがある
- 無理やり使わされたことがある
- わからない

共通質問14) あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。(複数選択可) N=1181



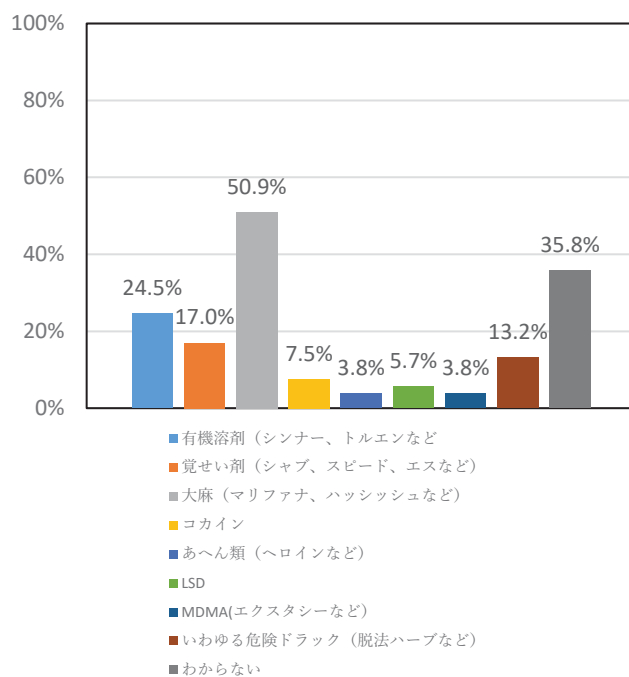
- 誘った相手が誰であろうと、断る
- 誘った相手によっては、断りきれないかもしれない
- 一回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない
- 好奇心や面白半分から断らないかもしれない
- 悩み事があったり、疲れていたりしたら断らないかもしれない
- わからない
- その他

共通質問15ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している (いた) 人がいますかN=1179

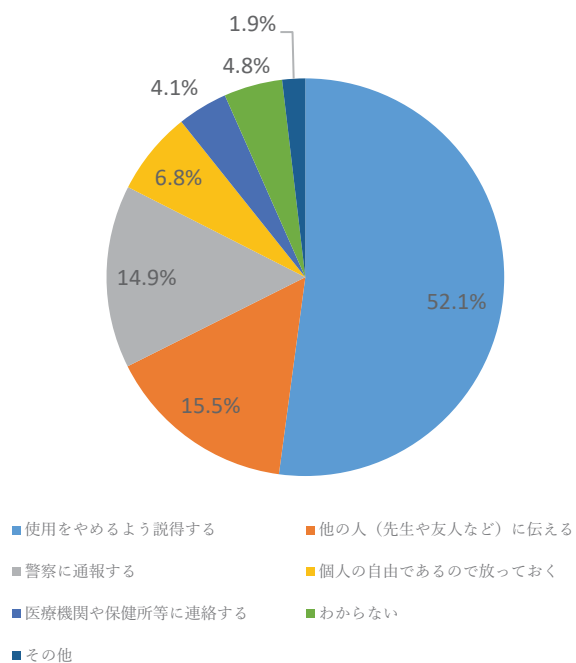


共通質問15イ) どの薬物でしたか。(複数選択可)

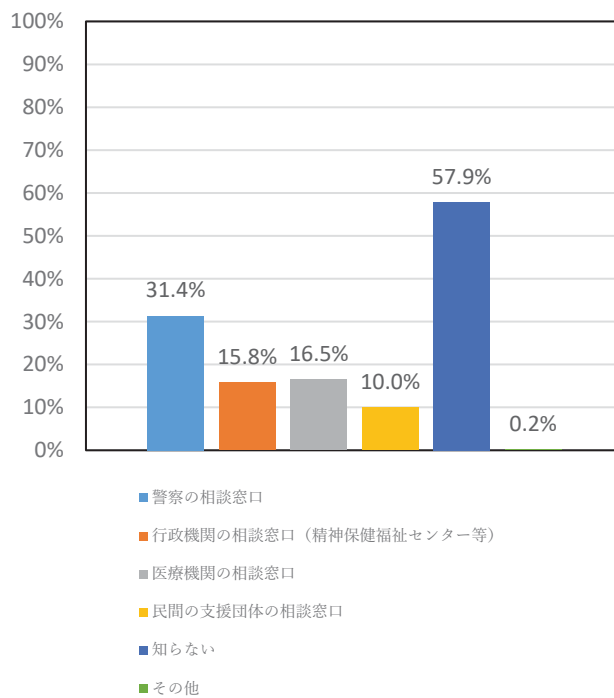
N=53



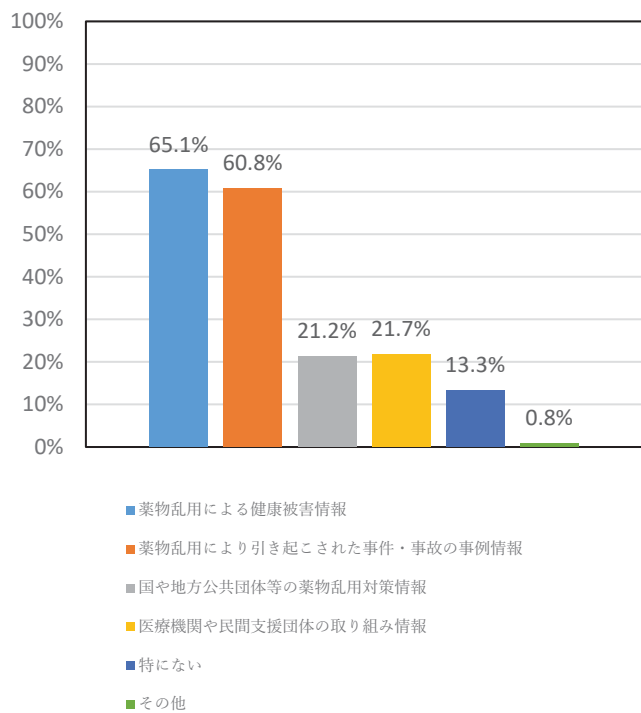
共通質問16) あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。(1つ選択) N=1176



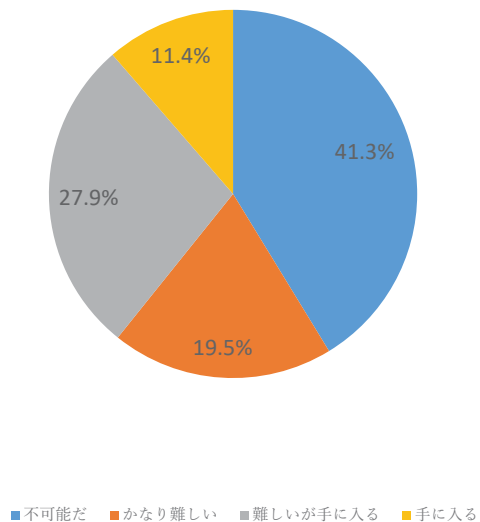
共通質問17) あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数選択可) N=1180



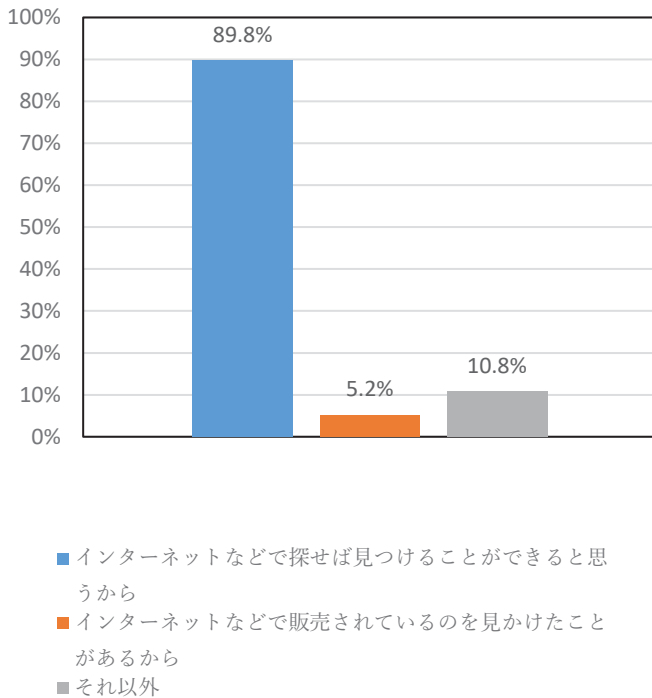
共通質問18) あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何ですか。(複数選択可) N=1177



共通質問19ア) あなたは、これらの薬物を手に入ると考えますか。(1つ選択) N=1180

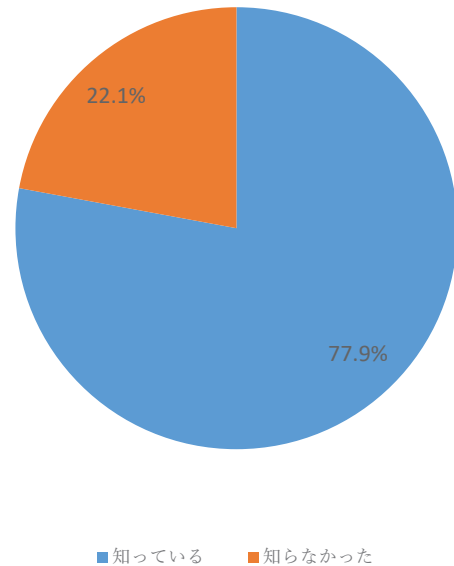


共通質問19イ) 共通質問19ア)で「難しいが手に入る、または、手に入る」に○をつけた人だけお答えください】入手可能と考えた理由は何ですか。(複数回答可) N=481



共通質問20) あなたは、薬事法の一部改正(平成26年4月1日施行)により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる

薬物になったことを知っていますか。(1つ選択) N=1154



共通質問 19 ウ) 【共通質問 19 イ)で「それ以外」に○をつけた人だけお答えください】それ以外に入手可能と考えた理由は何ですか。入手可能と考えた理由は何ですか。

- SNS (Twitter) で検索をかける値段や受け取り場所が出てくるから。
- エレベーターに怪しい販売場所のメモが貼ってあるのを見たことがあるから
- クラブとか
- クラブなどで使用する人が多い
- クラブなどの世界にはまったら、口に入れられたりすぐに手に入るものだと思う。
- クラブなど夜のお店ならそういう人がいるかなと思うから
- シンナーくらいなら僕の家にもあるので簡単にてにはいるんじゃないですか？
- ナイトクラブとかに行けば簡単に手に入りそうだったから
- 医薬品などでも誤った使い方をすれば薬物を作れてしまうから。
- 駅などで受け渡しをしているという話を聞いたことがあるから
- 怪しいお店や、危なそうなお店に入り浸っていたらいつかは手に入りそうだったからです。
- 海外の法規制が比較的緩い場所
- 海外や反社会的組織から入手することが可能であるため。
- 外国のお菓子里に含まれていたりするから。
- 外国へ旅行する機会があったとき等に、薬物の使用が許可されている国では購入できるところから。
- 街中で何らかの違法薬物を使っていると思われる人を見るので、想像以上に身近に存在すると考えているから。

- 簡単に薬物に手を染める若者が多いというニュースを見たから
- 高校生の時に聞いた講演会で高校生でもインターネットとかからよく手に入れてるって聞いたから
- 合法的じゃな方法です。(例として挙げるとしたら病院での窃盗とか)
- 今の時代手に入れようと思えば大抵の物は手に入りそうだから
- 市販で売られている薬でも使用量を誤れば、薬物の乱用になり得ると本で読んだため。
- 治安の悪い場所に行ったら売ってる人がいそう。
- 実際に流通しているとよく聞くから。昔使用していた人が知り合いにいるから(知り合いの知り合い程度)
- 実際捕まる人間がいるから
- 身近な存在だから
- 人からもらったりすることができるから
- 昔よりはネットが普及して裏の手口が簡単に使えるような気がするから
- 他人からもらう
- 大阪のアメ村で売りつけられることがあるらしい
- 知り合いなどのツテを使って入手しているイメージがあるため。
- 知り合いのペンキ屋さん
- 入手方法を知らないし買いたいと思わないから。
- 売人はこちら側を見ているから。また、大麻に関しては種子は合法なので栽培すれば入手可能。
- 反社会的勢力
- 繁華街などで普通に売っている危ない場所がいくつかあるから
- 繁華街の人気のない路地裏とかに行けば手に入ると思う。
- 繁華街の路地裏
- 麻薬の受け渡しをニュースで見たことがあるから
- 友達が持っていたから

- 有機溶剤は業務用としてホームセンターに売っているから
- 裏の人やよろしくない事をしている人を辿っていけばたどり着くから
- 裏社会があると思うから
- 路地裏・使っている友達・または先輩経由の入手、ヤクザ関連、受け子
- 姉の友人が販売しているところをみたことがあるから
- 実際に使っている人が多く存在するから
- 実際に手に入れて使っている有名人がいるから。
- 知り合いからの紹介で手に入れている人が多そうと思ったから。
- 知り合いを通じて口コミ
- 入手可能であろう某繁華街が存在するから。
- 繁華街などで販売している場所を知っているから
- 友人を通して手に入れられる話を聞いたことがあるから
- 路上でも売っている人はたまにいるから(大阪や姫路などの都会の路地裏など)

4. 調査のまとめ

- ◆薬物乱用問題については、前年度調査と同様に、回答者の半数近くが何らかの関心を示している。前年度と比べて今年度は、「あまり関心がない」、「ほとんど関心がない」の回答が3ポイント増加している。
- ◆薬物のうち、有機溶剤、覚せい剤、大麻、コカインやあへん類については、前年度と同様に、回答者の大多数が当該薬物名を知っていた。
- ◆薬物の印象については、前年度と同様に、大多数の回答者が心や体に害があるなどのネガティブな印象を有している。
- ◆薬物の使用や所持については、前年度と同様に、大多数の回答者が罰せられることを認識している。
- ◆薬物について、前年度と同様に、大多数の回答者が学んだり聞いたりしたことがあると回答している。
- ◆薬物を使用した場合に現出する症状等についても、前年度と同様に、大多数の回答者が認識している。
- ◆薬物については、前年度と同様に、大多数の回答者が初等中等教育で情報を得ていた。
- ◆薬物を使用した場合の害については、前年度と同様に、半数以上の回答者が大学で学ぶ方がよいとしている。
- ◆薬物使用者が増えている理由として、前年度と同様に、7割の回答者が薬物が簡単に入手できるからと回答している。
- ◆薬物使用については、前年度と同様に、大多数の回答者がどのような理由であれ、絶対に使用すべきではないと回答している。
- ◆薬物の使用や購入の勧誘については、大多数の回答者は誘われたり、勧められたりしたことはないが、ごく少数の回答者が使用や購入の勧誘を受けていた。その割合は前年度より1ポイント下回っている。
- ◆薬物の使用の勧誘を受けた場合、前年度と同様に、大多数の回答者が誘った相手が誰であろうと断ると回答している。
- ◆友人が薬物を使用していることを知った場合、半数以上の回答者が使用をやめるよう説得すると回答している。
- ◆薬物の相談窓口については、前年度と同様に、半数以上の回答者が知らないと回答している。
- ◆薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報については、前年度と同様に、半数以上の回答者が、薬物乱用による健康被害情報と引き起こされる事件と回答している。
- ◆薬物が入手可能かどうかについては、前年度は半数の回答者が入手可能と回答していたが、今年度では入手可能との回答は10ポイント下回っていた。入手可能と回答した理由としては、前年度と同様に、インターネットを手段として入手できるとしている。

まとめ

以上の調査結果から、前年度と同様に、約6割近くの回答者が、薬物を使用した場合の害と薬物の相談窓口についての情報提供が必要であると回答していることから、今後、各大学で取り組む課題として考えられます。

共同 IR の実施結果の地元産業界等と共有及び改善の協議等について

■ヒアリング項目

「大学コンソーシアムひょうご神戸 令和5年度 新入生対象 薬物に関する意識調査報告書」について

■説明内容

- ・本年度は、前年度比 2.5 倍の 1,184 名から回答を得た。
- ・薬物乱用問題については、「あまり関心がない」、「ほとんど関心がない」の回答が 3 ポイント増加している。
- ・薬物の使用や購入の勧誘については、ごく少数の回答者が使用や購入の勧誘を受けていたが、その割合は前年度より 1 ポイント下回っている。
- ・薬物の相談窓口については、前年度と同様に、半数以上の回答者が知らないと回答している。
- ・薬物が入手可能かどうかについては、前年度は半数の回答者が入手可能と回答していたが、今年度では入手可能との回答は 10 ポイント下回っていた。
- ・前年度と同様に、約 6 割近くの回答者が、薬物を使用した場合の害と薬物の相談窓口についての情報提供が必要であると回答していることから、今後、各大学で取り組む課題として考えられる。

<ヒアリング先>

1. 兵庫県

- (1) 日時；2023 年 7 月 28 日（火）13：00～15：00
(2023 年度第 4 回企画運営委員会にて)
- (2) 場所；大学コンソーシアムひょうご神戸事務局
- (3) 出席者；兵庫県総務部教育課 班長 太田 稔 氏 等
- (4) 意見
 - ・薬物の使用について、「個人の自由である」と「1 回位なら使ってもかまわない」の回答率がかなり高いことが懸念事項である。
 - ・新入生段階での啓発は良いタイミングであると思う。

2. 兵庫県中小企業団体中央会

- (1) 日時；2023 年 7 月 12 日（水）10：00～10：30
- (2) 場所；兵庫県中小企業団体中央会
- (3) 出席者；兵庫県中小企業団体中央会 事務局長 内田 雅康氏
- (4) 意見
 - ・薬物に関する意識調査もさることながら、今話題になっている「闇バイト」についての意識調査を行ってはどうか。
 - ・「闇バイト」に手を出すと就職も出来なくなり、取り返しがつかなくなるので、新入生にたいする啓発の意味でも取り組んではどうか。

3. 兵庫県商工会連合会

- (1) 日時；2023年7月12日（水）11：00～11：30
- (2) 場所；兵庫県商工会連合会
- (3) 出席者；兵庫県商工会連合会 事業部 広域指導センター 主事 山本 裕香氏
- (4) 意見
 - ・山本氏より、特段のご意見はなし。

3. 兵庫県中小企業家同友会

- (1) 日時；2023年7月12日（水）14：00～14：30
- (2) 場所；兵庫県中小企業家同友会
- (3) 出席者；
兵庫県中小企業家同友会 主任事務局員 津田 泰行氏 、事務局 内橋 秀明氏
- (4) 意見
 - ・昨年度も指摘したと思うが、薬物の使用よりも宗教団体、マルチ商法、詐欺等の方がもっとリアリティーがあり、何も分からない新入生に対して意識啓発を図る意味で有益ではないのか。何も分からず相談できる友達もいない状況の新入生が宗教団体、マルチ商法、詐欺等に巻き込まれる可能性があるのではないか。
 - ・健全な大学生活を送ってもらうためにも、新入生の段階で宗教団体、マルチ商法、詐欺等についての意識啓発を図っていただきたい。

以上

第1回 リスクに関する情報連絡会～BCP（事業継続計画）を考える～

主催：大学コンソーシアムひょうご神戸

1. 日時：2023年5月25日（木）14:30～16:30
2. 場所：（対面）兵庫国際交流会館・（オンライン）Zoomによるハイブリッド開催
3. 対象：加盟校教職員、及び関心のある方
4. 参加者：総計15名
 大学…8校10名（うち加盟校7校9名・非加盟校1校1名）
 （内訳）大手前大学・大手前短期大学(1)・関西学院大学(3)・甲南大学(2)・神戸市外国語大学(1)・
 神戸大学(1)・頌栄短期大学(1)・摂南大学(1) ※大手前大学・大手前短期大学は兼任
 学生…1校1名（非加盟校）
 （内訳）国際基督教大学(1)
 行政・団体…1団体1名
 （内訳）日本私立大学協会(1)
 大学コンソーシアムひょうご神戸事務局…3名

5. 開催趣旨

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画II期（2022年～2026年）における取組課題「大学資源を活用する地域プラットフォームの形成」の一つとして、前年度に引き続き「緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築」に取り組む。今年度は大学間で連携するリスクマネジメント体制について考える「リスクに関する情報連絡会」を開催する（年4回予定）。第1回目となる今回は、「リスクマネジメントとBCP（事業継続計画）について」をテーマに業務経験の有無を問わず、リスクマネジメントとBCPについての基本的な考え方を理解しやすくするため、対面・セミナー形式で開催した。

6. プログラム

14:30～15:30：第1部「講演会」

講演者：兵庫県立大学 大学院減災復興政策研究科 教授 青田良介 氏

15:30～15:40：休憩

15:40～16:30：第2部「意見交換会」

7. 内容詳細

■第1部「講演会」

BCPは一般的に「災害対応業務」と考えられる傾向があるが、忘れてはいけない視点として「継続すべき本来業務」がある。そこを意識したうえで南海トラフ地震を想定して作成された「香川大学事業継続計画(BCP)」をもとにBCPの目標・方針、香川県や大学の被害想定、災害時の対応体制、対応・代替拠点の確保、重要業務・非常時優先業務の選定、災害情報の発信・情報共有等を青田先生よりご説明いただいた。

■第2部「意見交換会」

参加大学の現状のBCP状況共有、阪神・淡路大震災の災害時の対応、学生や教職員の安否確認方法、大学における広報機能、システムダウンの際における対応などについて意見交換を行った。

8. 参加者の感想等(アンケート回答者8名、回答率67%)

リスクに関する情報連絡会のアンケートでは第1部「講演会」において回答者全員、第2部「意見交換会」では7名(88%)が「よかった」の回答であり、講演会と意見交換会を通してリスクマネジメントとBCPの基本的な考え方の理解につながった。意見交換会では「危機管理のテーマが大きく何から手をつければいいかが分からない」「最近、発生した災害を経験された大学から、BCPや初動マニュアルの実践活用事例や、直面した現実から見直しを行った内容等をわかりやすくご説明いただける場があればありがたい」等の意見が挙がった。

第2回目(8月開催予定)は各大学にて「阪神・淡路大震災での学内対応記録の有無やその内容」、「安否確認システムについて(利用しているシステム・運用方法等)」を確認し、事例検討と意見交換を行う。

(以下、参加者アンケート抜粋)

Q1. リスクに関する情報連絡会(全体)は、いかがでしたか。

- 各大学の現状を知ることができた。また、大学のBCPに関する基礎的な知識を得ることができた。
- BCPについての理解を深めることができた。また他大学の担当者の方とのつながりができよかった。
- 同じような職種の方を関われる機会を設けてよかった。

Q2. 第一部青田先生の講演の内容は、いかがでしたか。

- 各大学の現状を知ることができた。また、大学のBCPに関する基礎的な知識を得ることができた。
- BCPについての理解を深めることができた。また他大学の担当者の方とのつながりができよかった。
- 同じような職種の方を関われる機会を設けてよかった。

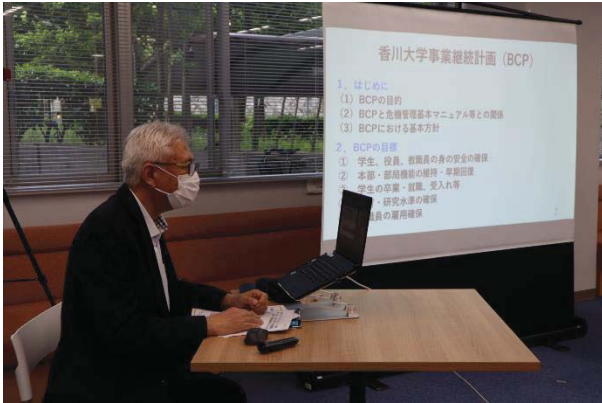
Q3. 第二部意見交換はいかがでしたか。

- 各大学の現状を知ることができたため参考になった。
- 各大学の防災対策状況について知ることができよかった。

Q4. 当コンソーシアムが実施するリスクマネジメントがテーマのイベントに期待すること、希望する内容があればおきかせください。次回以降の参考にさせていただきます。

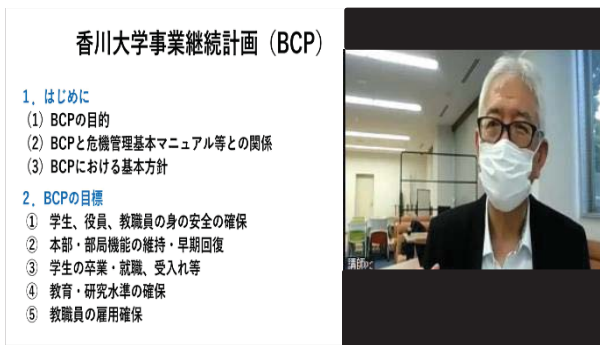
- これを機会として、防災時の協力関係の構築を設けるきっかけになればいいと思う。
- 優先順位を考えるために大切にしたい方がよいことなど、具体的な策定方法が知れたら嬉しい。

【当日の写真】

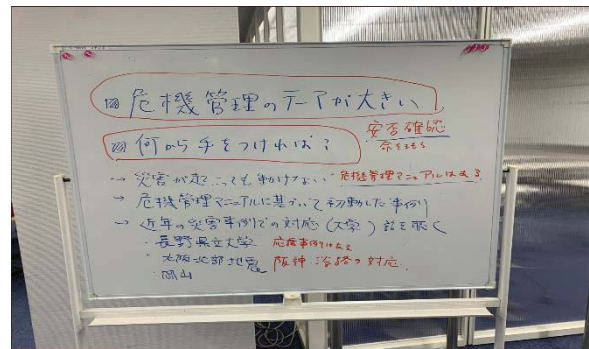


兵庫県立大学 大学院減災復興政策研究科 教授 青田良介氏

●会場の様子(兵庫国際交流会館)



●Zoomでのハイブリッド開催



●次回以降のテーマ設定

以上

第2回 リスクに関する情報連絡会

～BCP（事業継続計画）と本来の大学業務を考える～

主催：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

1. 日時：2023年9月14日（木）14:30～16:30

2. 場所：（対面）兵庫国際交流会館・（オンライン）Zoomによるハイブリッド開催

3. 対象：加盟校教職員、及び関心のある方

4. 参加者：総計11名

大学…7校8名

（内訳）大手前大学・大手前短期大学(1)・関西国際大学(2)・甲南大学(2)・神戸大学(1)・神戸市外国語大学(1)・

頌栄短期大学(1) ※大手前大学・大手前短期大学は兼任

大学コンソーシアムひょうご神戸事務局…3名

5. 開催趣旨

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画 II 期（2022年～2026年）における取組課題「大学資源を活用する地域プラットフォームの形成」の一つとして、前年度に引き続き「緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築」に取り組む。今年度は大学間で連携するリスクマネジメント体制について考える「リスクに関する情報連絡会」を開催する（年4回予定）。第1回目では、南海トラフ地震を想定して作成された「香川大学事業継続計画（BCP）」をもとにBCPの目標・方針、香川県や大学の被害想定等の講演会、および各大学のBCPマニュアル作成状況などの意見交換会を行った。

第2回目となる今回はBCPの具体的なイメージを共有するため、自学において学生の在校時に地震等が発災した際の「災害マニュアル」の整備、マネジメント体制のあり方について情報共有・意見交換を行った。

6. プログラム

14:30～15:15：第1部「話題提供」（静岡大学地震災害対応マニュアルより）

講師：兵庫県立大学 大学院減災復興政策研究科 教授 青田良介 氏

15:15～16:30：第2部「意見交換会」

7. 内容詳細

■第1部「話題提供」

BCPの重要性と共に大学教職員のイメージを具体化させるため、「静岡大学地震災害対応マニュアル」（令和3年6月作成）をもとに教職員の勤務時間中・勤務時間外にとるべき行動や学生への指示、および学生がとるべき行動や避難場所等について説明があった。

■第2部「意見交換会」

参加校におけるBCPマニュアルの状況、避難場所や地域避難訓練の取組み、水やトイレの大切さ、学生への周知方法、留学生対応などについて具体的な事例を踏まえながら意見交換を行った。また青田先生よりマニュアルを作成する際は「避難場所の指定が記載されていない」など不足部分が注目されがちであるが、完璧なマニュアル作成を目指すのではなく、災害時の行動がとれるように加点法の考え方で作成することが大切であるというお話があった。

8. 参加者の感想と考察

リスクに関する情報連絡会のアンケート(アンケート回答者 7 名、回答率 88%)では全体の内容について、「よかった」が100%の回答であった。話題提供を踏まえた意見交換会では、参加者から「自大学でも教職員向け危機管理マニュアルはあるが、静岡大学のようにきちんと整備されていなかった」「初動対応マニュアルを策定中で、今後詰めていくべき点がより明確になった」「情報共有と共に、リスクマネジメント有事の際、加盟校間で連携等関係を深めるきっかけにしたい」といった意見が挙がり、具体的なBCPの考え方を共有する機会となった。

またBCPマニュアルの問題点として「上司が来るまで、指示待ちの状態になる」「マニュアルに役割が書いてあるものの、予定した人が対応できない場合もある」「部署異動などで新しい部署に来た人がすぐに行動できない」といったことが挙げられた。

第3回目(11月開催予定)は、各大学にて「学生や教職員がいる主だった場所」を複数想定し、教職員が各場所に到着した順番に行動できる「アクションカード」について意見交換・情報共有を行う予定である。

(以下、参加者アンケート抜粋)

Q1. リスクに関する情報連絡会(全体)は、いかがでしたか。

- 他大学の状況を共有できて大変参考になった。また青田先生や災害復興、防災・減災をテーマに研究されている教員のお話を直に聞くことができ大変参考になった。
- さまざまな大学の現状、取り組みを知ることができた。
- 災害マニュアル、BCPについて学校法人という立場で考える契機になると感じた。

Q2. 第一部 青田先生のお話は、いかがでしたか

- 大規模地震発生時の初動対応マニュアルを策定中であるところ、今後詰めていくべき点がより明確になった。
- 静岡大学の事例を通じて具体的にお話しただけでわかりやすかった。
- BCPを取り巻く現状などを知ることができ、知識の整理に大変役立った。

Q3. 第二部 意見交換会はいかがでしたか。

- 大学の規模によって対応の違いがでてくるが、職員の役割である「学生の命を守るためにはどうしたらよいか」という視点での意見が聞けてよかった。
- 各大学の現状、参加者の経験を通して、自大学の取り組みを見直すきっかけになると感じた。
- 気楽に意見交換できる雰囲気よかった。

Q4. 当コンソーシアムが実施するリスクマネジメントがテーマのイベントに期待すること、希望する内容があればおきかせください。次回以降の参考にさせていただきます。

- 情報の共有と共に、リスクマネジメント有事の際、加盟校間で連携等関係を深めるきっかけとなればよいと思う。
- なるべく多くの大学の現状(危機管理などについて)を知りたい。
- 当学のような規模に近い大学の事例を紹介いただけるとありがたい。

【当日の写真】



兵庫県立大学 大学院減災復興政策研究科教授
青田良介氏（左から2人目）



各校の事例検討を行った。



Zoom 画面。ハイブリッド形式にて会場の様子を配信した。

大学コンソーシアムひょうご神戸
第2回：リスクに関する情報連絡会
BCP（事業継続計画）と本来の大学業務を考える
2023年9月14日(木) 14:30～16:30

大学において、災害時、優先させるべき本来業務とは何でしょうか。BCPに焦点を置きながらも、本来の大学業務で維持、継続すべきこと、新たに発生する災害対策との調和を考えます。
今回は、継続的なイメージを共有するため、自学において学生の在学中に地震等が発生した際の「災害マニュアル」の抜粋、マネジメント体制のあり方について、情報共有・意見交換します。どなたでもお気軽にご参加ください。

申し込みフォーム
<https://forms.gle/3Ck8tRtPak8t7>

<第2回（今回）の内容と今後の流れ>

第2回 兵庫県立大学 減災復興政策研究科 教授 青田 良介 先生 参加対象者 加盟校教職員及び 関心のある方 計20名 開催場所 兵庫県交楽会館 〒651-0872 神戸市中央区加藤町2-3 (対面・オンライン開催)	第3回 (12月予定)
第1回 (5月に開催済)	第4回 (2024年3月予定)

大学が連携したリスクマネジメントのあり方も検討したいと思います。
申し込み・お問い合わせ先：大学コンソーシアムひょうご神戸（中本・青島・江川）
☎078-275-0233 E:info@consortium-hyogo.jp

募集案内ポスター

以上

令和5年度 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議

日 時：令和5年10月12日(木)
14:00～16:00

場 所：神戸クリスタルタワー3階 クリスタルホール

1 開 会

2 講 演

「地元の多様な主体の参加・連携・協働による被災住民支援ネットワーク
～静岡県の取組～」

・社会福祉法人静岡県社会福祉協議会 地域福祉課 係長 鈴木 貴也 氏

3 事例発表

「大規模災害発生時における全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）
の取り組みについて」

・全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD） 照井 佑徳 氏

4 情報提供

(1) 令和5年台風7号被害に関する県内社協の活動について

・兵庫県社会福祉協議会地域福祉部 部長 福本 良忠 氏

(2) 赤い羽根共同募金の取り組みについて

・兵庫県共同募金会 常務理事・事務局長 戸田 達男 氏

(3) 今年度の「大規模災害を想定した災害ボランティア連携訓練」について

5 閉 会

【**県域団体**】

	所属	職名	氏名	出欠	代理出席者
1	生活協同組合コープこうべ	地域活動推進部 組織運営推進・統括	藤原 智子	出席	
2	公益社団法人兵庫県看護協会	会長	丸山 美津子	欠席	
3	日本赤十字社兵庫県支部	事務局次長	小野 雅弘	代理出席	事業部奉仕課長 岡本 昇
4	兵庫県商工会議所連合会(神戸商工会議所)	総務部総務チーム・主任調査役	三宅 雅也	欠席	
5	兵庫県商工会連合会	事務局長兼事業部長	篠原 靖尚	欠席	
6	兵庫県経営者協会	常務理事・事務局長	長尾 泰明	出席	
7	日本労働組合総連合会兵庫県連合会	副事務局長	西田 浩樹	欠席	
8	公益社団法人日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会	兵庫の未来創造委員会 委員長	山下 将輝	欠席	
9	兵庫県ボランティア協会	理事・事務局長	後藤 富枝	出席	
10	一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸	担当部長	中水 かおる	出席	
11	兵庫県立学校長協会	会長	志摩 直樹	欠席	
12	兵庫県生活協同組合連合会	専務理事	江見 淳	欠席	
13	ライオンズクラブ国際協会 335-A地区	地区環境・アラート委員長	金築 和也	出席	
14	ライオンズクラブ国際協会 335-D地区	335-D地区環境保全・アラート(緊急援助)委員長	春名 信義	欠席	
15	特定非営利活動法人 兵庫県防災士会	事務局長	石崎 徹	出席	

【**中間支援NPO等**】

	所属	職名	氏名	出欠	代理出席者
16	神戸	認定特定非営利活動法人 コミュニティ・サポートセンター神戸	事務局長	飛田 敦子	代理出席 柳井 俊郎
17		公益財団法人ひょうごコミュニティ財団	代表理事	実吉 威	代理出席 福田 和昭
18	阪神南	特定非営利活動法人 シンフォニー	就業コーディネーター	洪 玉英	出席
19		特定非営利活動法人 コミュニティ事業支援ネット	理事長	東 朋子	欠席
20		特定非営利活動法人 あしやNPOセンター	事務局・相談員	二宮 毅行	代理出席
21	阪神北	認定特定非営利活動法人 宝塚NPOセンター		馬越 康弘	欠席
22		特定非営利活動法人 市民事務局かわにし	理事長	三井ハルコ	欠席
23		NPO会計支援センター合同会社	事務スタッフ	松岡 千尋	欠席
24	東播磨	特定非営利活動法人 シミンズシーズ	事務局長	柏木 輝恵	欠席
25		一般財団法人 明石コミュニティ創造協会	理事長	永野 潔	代理出席
26	北播磨	特定非営利活動法人 北播磨市民活動支援センター	理事・マネージャー	飛田 協子	出席
27	中播磨	認定特定非営利活動法人 コムサロン21	理事長	前川 裕司	出席
28		姫路市市民活動・ボランティアサポートセンター	所長	岸本 和美	出席
29		特定非営利活動法人 生涯学習サポート兵庫	理事長	山崎 清治	欠席
30	西播磨	特定非営利活動法人 ひとまちあーと	代表理事	武内 憲章	欠席
31	但馬	特定非営利活動法人コミュニティアートセンタープラッツ	代表理事	岩崎 孔二	欠席
32	丹波	一般社団法人 ウイズささやま	経理課長	柳田 好彦	出席
33	淡路	認定特定非営利活動法人 ソーシャルデザインセンター淡路	理事長	木田 薫	欠席

【災害救援・復興専門NPO等】

	所属	職名	氏名	出欠	代理出席者
34	株式会社 遊空間工房	代表取締役	野崎 隆一	欠席	
35	特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所	理事・事務局長	浅見 雅之	欠席	
36	認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク	理事長	檜垣 龍樹	代理出席	事務局 荒木 正澄
37	被災地NGO協働センター	代表	頼政 良太	出席	
38	人と防災未来センター	研究部長	行司 高博	代理出席	研究員 山崎 真梨子
39	特定非営利活動法人 さくらネット	代表理事	石井 布紀子	欠席	
40	近畿災害対策まちづくり支援機構	事務局長	長谷部 信一	出席	
41	認定特定非営利活動法人 まち・コミュニケーション	代表理事	宮定 章	欠席	
42	一般財団法人 大吉財団	理事長	山本 吉大	代理出席	事務局長 青井 介
43	一般社団法人 兵庫県産業資源循環協会	青年部会部会長	伊地知 宏徳	代理出席	副部会長 武本 佳弥

【行政・社協】

	所属	職名	氏名	出欠	代理出席者
44	社会福祉法人神戸市社会福祉協議会	地域支援部長	禰宜田 竜樹	代理出席	地域支援部課長 長谷部 治
45	兵庫県県民生活部県民躍動課	課長	佐藤 正明	出席	
46	兵庫県危機管理部防災支援課	課長	奥見 啓五	代理出席	副課長 西岡 武則
47	兵庫県危機管理部災害対策課	課長	藤本 剛司	代理出席	班長 加納 秀起
48	社会福祉法人兵庫県共同募金会	常務理事・事務局長	戸田 達男	出席	

【学識経験者】

	所属	職名	氏名	出欠	代理出席者
49	○ 神戸大学・兵庫県立大学	名誉教授	室崎 益輝	出席	

○：支援団体連絡会議委員長

【事務局】

所属	職名	氏名
社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会	地域福祉部長	福本 良忠
社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会 ひょうごボランティアプラザ	所長	芳永 和之
	事務局長兼 総務調整部長	日原 基
	交流支援部長	高田 利江子
	交流支援部 副部長	北野 全彦

食料品等の値上げが、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。兵庫県では、スーパーやコンビニ、飲食店、商店街の小売店等で幅広く使えるプレミアム付デジタル券「はばタンPay+」を活用した家計応援事業を実施します。誰もが安心して暮らせる兵庫のため、これからも県民の皆様の家計を応援してまいります。



フーフー！
子育て世帯！

兵庫県マスコット
はばタン
©兵庫県2007



兵庫県知事 齋藤元彦

ひょうご家計応援キャンペーン プレミアム付デジタル券

申込開始日 11月1日水 0:00~

申込締切日 11月15日水 20:00

※ 11/15(水)のみコールセンターの営業時間を21:00まで延長します。

2次販売!!

利用期間 | 2023年12月22日(金)~2024年2月29日(木)

2次販売購入対象者

- 兵庫県在住者で1次販売時に申込をしていない方
↳ 一般枠3口以下、子育て応援枠1口以下を申し込み済の場合、二次募集での二度目の申請は不可。
- 兵庫県在住者で1次販売募集時に落選された方

子育て応援枠 ※申込上限:1世帯2口まで
1口7,500円分を5,000円で販売 **1口あたり 2,500円お得!!** **50%** (プレミアム率)

一般枠 ※申込上限:1人4口まで
1口6,250円分を5,000円で販売 **1口あたり 1,250円お得!!** **25%** (プレミアム率)



13,000店以上で利用可能 | 兵庫県内のスーパー・コンビニ・ドラッグストア・家電量販店・飲食店・直売所・商店街の小売店等でご利用いただけます

詳しくはコチラ

特設ホームページ | <https://habatan-pay-plus.com/> 検索



各アプリストアでダウンロードできます



iPhoneの方はコチラから



Androidの方はコチラから



ひょうご家計応援キャンペーン プレミアム付デジタル券
「はばタンPay+(プラス)」事務局 専用コールセンター

期間延長
2023年7月10日(月)~
2024年3月15日(金)

お問い合わせはコチラ
(受付時間:9:00~17:30)

☎ 050-2018-3367

※Apple, Appleのロゴ, App Storeは、米国および他国のApple Inc.の登録商標です。 ※Google Play および Google Play ロゴは、Google LLCの商標です。 ※ご利用にはQRコードの読み取り可能なスマートフォン等が必要になります。 ※QRコードは株式会社アンソニーウェブの登録商標です。

大学・企業等の皆様へのご案内

地域 × 大学 × 企業 をつなぐ

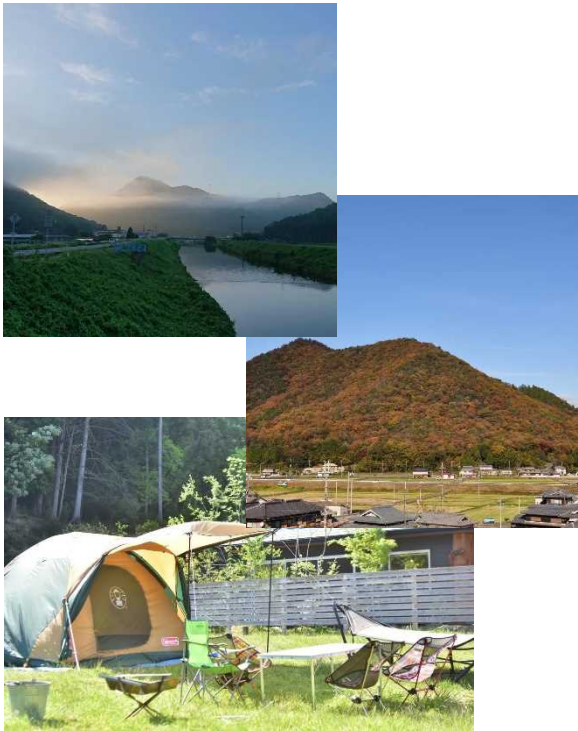
HYOCON (ヒョウコン)

第1回



兵庫県では、少子高齢化や過疎化が進む多自然地域の住民が、地域課題解決のため、高い専門性を持つ大学や企業と連携して行う活動を支援しています。

このため、地域と大学・企業が出会い、つながりをつくることを目的としたイベント「HYOCON (ヒョウコン)」を開催します。



日時

11月28日 (火)

14:00-16:00

会場

西脇市水尾町公民館

西脇市水尾町603-1

神戸から車で約1時間 (滝野社ICから15分)

駐車場あり

JR西脇市駅から送迎バス運行

参加者募集

定員20名

大学、企業等に所属し、地域を応援したい方を募集します！！

お申込みはこちらから



【申込締切】11/21(火)



イベントでは、様々な地域資源の活用を考えていらっしゃる**兵庫県西脇市**
芳田地区の皆さんと一緒に地域課題の解決方法について考えます！

13:30 - 14:00

受付

14:00 - 14:30

オリエンテーション

14:30 - 15:35

地域の紹介

地域から困りごとや叶えたいことをプレゼン

参加者全員でアイデアの出し合い

15:35 - 16:00

振り返り・閉会

16:00 - 17:00

懇親会 (参加希望者のみ)

[アイデアをいただきたいテーマ]

1 改修した公民館の利活用

2 耕作放棄地の有効活用

3 自然を活かした環境教育

お問い合わせ  兵庫県企画部地域振興課多自然地域づくり班

TEL 078-362-4031 Mail chiikishinkou@pref.hyogo.lg.jp

HYOCON のご紹介

地域、大学、企業等が参加し、地域の困りごとを参加者全員で考えるイベントです。(鎌倉市内の地域活動「カマコン」がモデル)
地域課題の解決に向けて、参加者全員で自由なアイデアを出し合い、皆で地域のことを考え、地域を困む参加者間の人的ネットワークをつくることを目的としています。

地域の方からのプレゼン

01

地域として取り組んでみたいことや困っていることを地域の方から参加者全員に対してプレゼンを行っていただきます。

02

参加者全員でアイデアの出し合い

地域の困りごとを参加者全員がジブンゴトとして捉え、ブレインストーミング方式※でアイデアを出し合います！

※会議に参加した人たちが自由な発想で意見を出し合い、新しいアイデアを生み出すための手法



地域×大学×企業のつながりの形成

HYOCONを通じてできたつながりを基に、地域課題解決のための連携活動の可能性を探っていただきます。

03

活動が具体化すれば

地域×大学×企業による連携活動を兵庫県が支援します！

市町の持続可能な生活圏形成の方向性を踏まえ、地域が大学、企業等と連携して行う地域づくり活動に要するソフト経費（活動にかかる交通費や消耗品購入費など）を対象とした補助事業を実施

[地域団体×大学 2者連携]

25万円上限 (最大3年間)

[地域団体×大学×企業等 3者連携]

37.5万円上限 (最大3年間)



※1 地域運営組織等の広域的な取組を行う住民団体

※2 地域外の企業・NPO法人・一般社団法人

Z世代と企業の力を活かした

持続可能な 多自然 地域づくり

🌸 トークセッション 🌸

11月11日 **土** 第1・2部 14:00~17:00

先着**70**名様 無料:事前申し込み必要 →

申し込み
QRコード



会場: **園田学園女子大学**



〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1

第**1**部

トークセッション

14:00~15:30

3つの大学からの事例紹介、大学生、企業(起業家)等を交えたトークセッション

第**2**部

事例発表・交流会

15:45~17:00

4つの大学からの事例紹介、グループごとによるトークセッション・交流会

第**3**部

懇親会

17:30~19:30

大学同士の交流や企業等との新たな連携に向けた出会いの場としてのご活用、交流・歓談をお楽しみください

主催  **兵庫県**

協力



園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部

お申込み・お問い合わせ **兵庫県企画部地域振興課**

TEL 078-362-4314

Mail chiikishinkou@pref.hyogo.lg.jp

持続可能な多自然地域づくりトークセッション ～Z世代や企業の力を活かした多自然地域づくり～

■開催の趣旨

これまで県主導で実施してきた「地域再生大作戦」の成果と課題を踏まえ、今年度から「持続可能な多自然地域づくりプロジェクト」として新たな取組を開始しました。その取組の一つとして、Z世代の感性や能力、企業のノウハウやテクノロジーを活用し、人口減少等の地域課題を解決するため「ひょうご絆プロジェクト」を実施しています。

本トークセッションでは、持続可能な多自然地域づくりの実現に向け、公民連携の手法などの取組を発信し、さらなる大学や企業等の参画を促進します。

検索

持続可能な多自然地域づくりプロジェクト

【第1部】トークセッション

場所：4号館（櫻和館）1階クリエイティブコモンズ

■取組事例のプレゼンテーション



園田学園女子大学



甲南女子大学



兵庫県立大学

■トークセッション

コーディネーター



地域再生アドバイザー/
キタイ設計(株)事業開発本部 部長
平櫛 武



パネラー



(株)Local PR Plan
代表取締役 安達 鷹矢

【第2部】事例発表・交流会

場所：4号館（櫻和館）1階クリエイティブコモンズ

■取組事例のプレゼンテーション



兵庫県立大学



関西学院大学



京都大学エスノ3ジョウ



関西国際大学

■グループトークセッション

コーディネーター（★印は座長）

- ★ 杉山 武志（兵庫県立大学環境人間学部 准教授）
- 平櫛 武（地域再生アドバイザー/
キタイ設計(株)事業開発本部 部長）
- 野田 満（地域再生アドバイザー/さんぞデザイン
共同代表/近畿大学総合社会学部 講師）
- 青柳 順子（地域再生アドバイザー/
（一社）ちいきのて 理事長）

【第3部】懇親会

場所：5号館1F食堂 開花亭

参加費 3,000円（消費税込み）

内容 軽食&ドリンク（ビール、ソフトドリンク等）

※園田学園女子大学の学生によるキッチンカーで

別途クレープ、ジェラート等の販売あり

【注意】

- 会場に駐車場は確保していませんので、公共交通機関又は近隣の有料駐車場をご利用ください。
- 申し込み時の個人情報については、兵庫県地域振興課で適切に管理するとともに、当プロジェクト活動に関してのみ使用します。

■参加申込（事前申込が必要です）

表面のQRコードを読み込んでいただき、「申し込みフォーム」からお申し込みください。

参加申込締切は、11/6（月）です。なお、〆切日以前であっても、定員に達し次第、受付を終了いたします。

地域課題の解決に向け大学や企業の参画を！